

平成 30 年度  
— 第 33 回 —

ふるさと

# 手づくり郷土賞

大賞  
部門

一般  
部門



ふるさと

# 平成 30 年度 — 第 33 回 — 手づくり郷土賞

手づくり郷土賞について ..... 4

手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ 2018～ ..... 6

## 講評

全体講評 ..... 10

選定委員講評 ..... 11

## 大賞部門

① 小樽雪あかりの路 北海道小樽市 ..... 14

② 伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり  
～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～ 三重県伊勢市 ..... 16

③ 蘇った歴史の道 岩国往来 山口県岩国市 ..... 18

## 一般部門

① 新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～ 北海道札幌市 ..... 20

② 地域を育てる緑の道 ～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～ 北海道旭川市 ..... 22

③ 「増毛山道」の復元と保存による地域活性化 北海道増毛町 ..... 24

④ 水害常襲地からの脱却！川との戦いから川とのふれあいへ 岩手県一関市 ..... 26

⑤ 名勝・高田松原の再生をめざして 岩手県陸前高田市 ..... 28

⑥ 月山志津温泉雪旅籠の灯り ～雪は宝～ 山形県西川町 ..... 30

⑦ 養老桜とアートの小径プロジェクト（文化と芸術の里づくり） 千葉県市原市 ..... 32

⑧ 会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ  
福島県会津若松市・喜多方市・会津坂下町・湯川村・会津美里町 ..... 34

⑨ レールマウンテンバイク 「Gattan Go!!」～自転車とレールで風になる～ 岐阜県飛騨市 ..... 36

⑩ 美濃和紙あかりアート展 岐阜県美濃市 ..... 38

⑪ 「雲原砂防イベント」（よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」） 京都府福知山市 ..... 40

⑫ 京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり 京都府長岡京市 ..... 42

⑬ 子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり  
～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～ 島根県出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町 ..... 44

⑭ 宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり  
～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～ 岡山県玉野市 ..... 46

⑮ 地域の駅から世界の大歩危駅へ 徳島県三好市 ..... 48

⑯ 上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動  
～植樹交流で下笠ダム湖のある地域を心の故郷へ～ 大分県日田市 ..... 50

⑰ 花とアートの岬「香々地」～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～ 大分県豊後高田市 ..... 52

⑱ 大塚台団地の里山再生 ～荒れ果てた都市部の里山再生～ 宮崎県宮崎市 ..... 54

⑲ 川坂湿原を生かした地域おこし ～霞堤とともに歩む～ 宮崎県延岡市 ..... 56

⑳ 旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり  
～レトロ路面電車でまちをつなぐ～ 宮崎県串間市 ..... 58

## 資料編

年度別テーマ一覧 ..... 60

選定案件一覧 ..... 62

ふるさと  
**手づくり郷土賞**



12 京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり



11 「雲原砂防イベント」  
(よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」)



14 宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり  
～ UNOICHI 海が見える港のマルシェ～



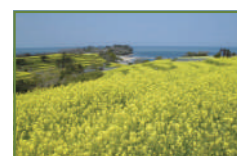
13 子ども達が取り組む  
河川環境保全活動から始まる地域づくり  
～ 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～



15 地域の駅から世界の大步危駅へ



3 蘇った歴史の道 岩国往来



17 花とアートの岬「香々地」  
～ 長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～



16 上下流の人々をつなぐ  
筑後川源流の保全活動  
～ 植樹交流で下笠ダム湖のある地域を心の故郷へ～



19 川坂湿原を生かした地域おこし  
～ 霞堤とともに歩む～



18 大塚台団地の里山再生  
～ 荒れ果てた都市部の里山再生～



20 旧吉松家住宅を中心とした  
大正ロマンのまちづくり  
～ レトロ路面電車でまちをつなぐ～

3 「増毛山道」の復元と保存による地域活性化



2 地域を育てる緑の道  
～ 未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～



1 小樽雪あかりの路



1 新川夢の桜並木事業  
～ 先人達の夢を実現～



4 水害常襲地からの脱却！  
川との戦いから川とのふれあいへ



5 名勝・高田松原の再生をめざして



6 月山志津温泉雪旅籠の灯り  
～ 雪は宝～



8 会津・阿賀川における  
「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ



7 養老桜とアートの小径プロジェクト  
(文化と芸術の里づくり)



9 レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」  
～ 自転車とレールで風になる～



10 美濃和紙あかりアート展



2 伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり  
～ 伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～



# 手づくり郷土賞ふるさとについて

## 「手づくり郷土賞」の背景および目的

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成30年度で33回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

平成30年度は、地域の魅力や個性を生み出している、社会資本\*及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を表彰する「手づくり郷土賞（一般部門）」、これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、なお一層の活動の充実が行われるなど地域づくりに貢献しているものを表彰する「手づくり郷土賞（大賞部門）」の2部門にて実施しました。

このほか、「手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ2018～」を開催し、受賞団体の中から、一般部門・大賞部門それぞれのグランプリと、ベストプレゼン賞を決定しました。

※原則として社会資本は国土交通省が所管するもの

## 「手づくり郷土賞」の選定対象

### ◆「手づくり郷土賞（一般部門）」

#### （募集対象）

地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果

#### （選考のポイント）

- ①社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫（地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成等）
- ②地域活動における創意・工夫、取組の独創性（新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組等）
- ③地域づくりへの成果及び波及効果（地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果等）
- ④今後の活動の継続性・発展性（住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫等）
- ⑤他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥その他（上記以外の特に優れた内容）

### ◆「手づくり郷土賞（大賞部門）」

#### （募集対象）

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果（たとえば、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含み内容が更に充実している成果、これまでに受賞した社会資本又は社会資本と関わりのある活動を核とした周辺エリアを含む成果など）

#### （選考のポイント）

一般部門の選考のポイントに加え、大賞部門においては以下のポイントも重視しています。

- ⑦社会資本の地域への定着状況（地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している等）
- ⑧活動の継続状況（規模を広げながら着実に継続している等）
- ⑨活動の発展状況（新たな取組を創出している、他地域へ波及している等）

## 募集方法と選定

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）との共同で応募するものとします。地方整備局等で受け付けた応募資料をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会による厳正な審査をした上で成果を選定します。

## 選定結果

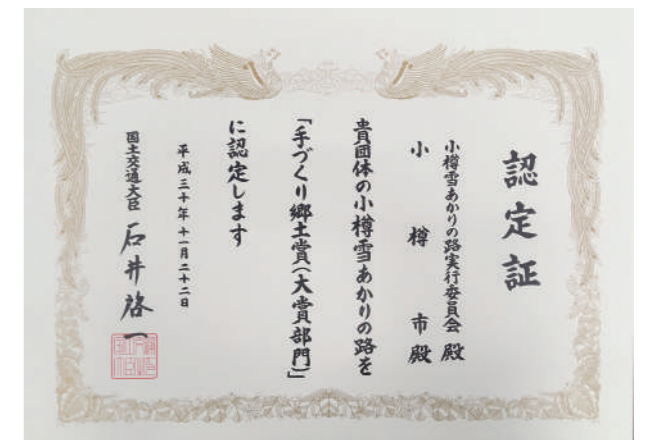
平成30年6月から8月にかけて募集を行い、全国から「手づくり郷土賞（一般部門）」に47件、「手づくり郷土賞（大賞部門）」に6件、合計53件の応募がありました。

平成30年11月に開催された「手づくり郷土賞選定委員会」において、各選定委員により様々な観点から選考が行われ、「手づくり郷土賞（一般部門）」

に20件、「手づくり郷土賞（大賞部門）」に3件、合計23件が選定されました。

## 認定証の交付

受賞団体には、各地方整備局長などを通じて、認定証が授与されるとともに、副賞として盾が贈呈されました。



認定証



副賞（盾）

# 受賞記念発表会

## 手づくり郷土賞受賞記念発表会の概要

昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」は、平成30年度で33回目を迎えました。

33回目となる平成30年度は、「手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ2018～」を開催する運びとなりました。発表会では、平成30年度手づくり郷土賞の選定団体全23団体からプレゼンテーションいただき、手づくり郷土賞選定委員会の選考により、一般部門、大賞部門それぞれのグランプリを決定しました。また、グランプリのほか、会場参加者の投票により、ベストプレゼン賞も決定しました。

### 【手づくり郷土賞受賞記念発表会の概要】

目的：手づくり郷土賞に選定された優れた地域づくり活動を広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が推進されることを目的として開催

日時：平成30年12月16日（日）

12時30分～16時10分

場所：東京国際交流館プラザ平成 3階 国際交流会議場（東京都江東区青海2-2-1）

参加者：約140人

## 手づくり郷土賞受賞記念発表会の開催結果

### 1. グランプリ等受賞団体の決定方法

「手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ2018～」では、受賞団体の中から、一般部門、大賞部門それぞれのグランプリを決定します。また、会場の皆さんからの投票により、ベストプレゼン賞を決定します。

#### (1) グランプリ（一般部門、大賞部門）

- ・グランプリについては、一般部門、大賞部門の各部門で、最も優れている活動を選定委員の合議により決定します。
- ・選定委員は、各団体からのプレゼン及び応募資料を踏まえ、下記に示す評価のポイントにより、総合的に評価します。

#### <評価のポイント>

- ① 活動内容が優れていたか。
- ② 活動内容や活動の意気込みが伝わったか。
- ③ プレゼンが工夫されていておもしろかったか。

#### (2) ベストプレゼン賞

- ・ベストプレゼン賞については、会場の皆様から投票いただき、部門を問わず、最も獲得票の多い団体に決定します。

### 2. 応募団体によるプレゼンテーション

各団体から活動のプレゼンテーション（発表3分、質疑3分）をしていただきました。



プレゼンの様子



会場の様子

### 3. グランプリ等受賞団体の発表・講評

すべての団体のプレゼンテーションが終わった後、会場からの投票・集計、選定委員によるグランプリの審査を行い、鈴木委員長より受賞団体の発表を行いました。最後に選定委員から講評をいただきました。

### <受賞団体の発表・感想>

#### グランプリ2018（一般部門）／ ベストプレゼン賞2018

#### ■ 地域の駅から世界の大步危駅へ

（徳島県三好市）JR 大步危駅活性化協議会



地域の一人ひとりが一日一日を積み重ねた結果だと思っています。次世代へつなげていくために粉骨砕身、頑張っていきたいです。今回、世界中の多くの人にお力をお借りしました。次は大賞をいただけるように継続して頑張っていきたいです。

#### グランプリ2018（大賞部門）

#### ■ 小樽雪あかりの路

（北海道小樽市）小樽雪あかりの路実行委員会



設立から20年経ち、先輩方から引き継いできたものがあります。小樽の景観を守っていきつつ、これからどう活かしていくか考えており、問題点も出てくると思いますが、今回いただいた賞を励みに、氷点下の気温のなかで、また新たに雪あかりの路をつくっていききたいです。

## &lt;選定委員の講評&gt;

## 鈴木委員長



日本は地域の方がまちづくりに積極的に取り組んでいる先進国だと思うが、発表を聞いて、そこには強い思いがあると改めて感じた。それぞれの活動にはそれぞれのきっかけがあることが印象的だった。危機的な状況や自分たちの生活に大きな変化があったとき、地域の方々の思いが集まるのだと思う。

## 河野委員



今回発表があった団体の多くにとって、地域内外の人をどう巻き込んでいくかも重要だと感じた。これからは地域の外の方も一緒に参画して地域をつくる時代になると思う。皆さんの活動が今後も永続的に推進され、新しい取り組みへと進展していくことを期待している。

## 田中委員



継続して価値を伝えていくには、取り組みの意義を共有することと、共感した人を巻き込んでいくことが重要だと思う。そのうえでさらに広げていくために、活動の背景にある、動機やストーリーを多くの人に語っていただきたい。

## 平野委員



手づくり郷土賞を受賞された方も受賞されなかった方も含めて、地元のために何かをやっていることは非常に尊いことで敬意を表したい。地域のために頑張っている皆さんの活動は、多くの人たちの模範となる活動だと思うので、これからも引き続き活動を頑張ってください。

## 福井委員



地域のためには、土木構造物等をつくるだけでなく、それを活用して地域の景観や風景を誰がどのように担い続けるかが重要だと思う。皆さんの活動は、そのような方々が地域で集まり、連携して、長い時間をかけて地域を維持していくかについて、他の地域の参考になると感じた。

## 4. 記念撮影

参加いただいた団体、選定委員の皆さんで記念撮影を行いました。



受賞団体との記念撮影



発表団体全員との記念撮影

Facebookページによる  
配信

「手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ2018～」の開催にあたり、参加者や関心のある方に少しでも団体の活動を知っていただくため、Facebookページにより、事前に各団体の活動PR

を配信しました。また、当日には発表会の様子を配信しました。

[手づくり郷土賞 Facebook ページ]

<https://www.facebook.com/mlit.tedukuri/>

# 全体講評

手づくり郷土賞は、昭和 61 年度に創設され、平成 30 年度で 33 回目を迎えます。今年度も、全国各地から、数多くの優れた取組の応募をいただきました。それぞれの地域を良くしていこうという想いが伝わってきて、甲乙付けがたいものばかりでした。

今年度も、昨年度に引き続き「手づくり郷土賞受賞記念発表会 ～グランプリ 2018～」を開催しました。発表会では、手づくり郷土賞の受賞団体の皆様にプレゼンテーションを行っていただき、団体の熱意や思いに触れることができ、選定委員会としても大変有意義で貴重な時間を過ごすことができました。

また、発表会に参加した多くの団体の方々から、「他の団体の活動を聞いて大変有意義であった」などのご意見をいただきました。このような有意義な時間を共有できたことは、ひとえに受賞団体の皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。

今後も、受賞された団体および地域においては、活動の継続および更なる発展にご尽力いただくとともに、各々特徴ある地域づくりが進んでいくことを、選定委員会一同期待しています。

## 第 33 回「手づくり郷土賞」選定委員会

委員長：鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
河野 まゆ子	株式会社 JTB 総合研究所 主席研究員
関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー ／一般財団法人コレゾ財団 代表理事
福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)

# 選定委員講評

## 鈴木 伸治 委員長

手づくり郷土賞を受賞された団体および関係者の皆様、選定委員会を代表し、これまでの長年のご努力に敬意を表すとともに、心よりお慶び申し上げます。

大賞部門グランプリを受賞された小樽雪あかりの路実行委員会の活動は、一般部門受賞時より着実に活動を拡大し、小樽運河や手宮線などの地域資源を活かしながら、地域住民のみならず国内外から多くのボランティアを集める活動へと発展を遂げており、大賞部門グランプリにふさわしい活動であると言えます。

一般部門グランプリおよびベストプレゼン賞を受賞された JR 大歩危駅活性化協議会の活動は、無人化した駅を地域住民の手で改修し、そこから生み出される様々なアイデアが国内外から多くの人を魅きつけている素晴らしい取り組みであり、魅力的なプレゼンもあり文句なしのダブル受賞となりました。

両団体の活動ともに小樽運河の埋め立て問題、駅の無人化という地域の危機をきっかけに、ふるさとへの「思い」が活動の輪を拡げ、そこを訪れる人々を魅了しているのではないかと思います。

以上の 2 団体のみならず、今回の受賞団体はそれぞれに地域に対する「思い」のこもった活動をされていると思います。これからは、その「思い」を各地に拡げていただき、地域のまちづくりのリーダーとなっただければと思います。受賞団体の皆様の今後の活動のご発展を祈っております。

## 河野 まゆ子 委員

手づくり郷土賞を受賞されました地域、団体の皆様に心よりお喜び申し上げます。

多くの方が世代を超えて協働し、地域づくりに取り組む事例はいずれも心に響くものでした。中でも、ほら貝を鳴らし登場した大歩危駅チームのインパクトは大きく、来訪者を巻き込み、楽しみながら活動されていることを実感しました。大賞部門の「小樽雪あかりの路」は、国外を含む多くのファンに支えられており、求心力と遠心力の双方を強く感じる点に大きな可能性が感じられました。

受賞団体の活動は、大きく以下の 4 つに分類されると考えました。1. 地域内外のひとの心をつなぐアイコンづくり、2. 失われた価値の再現と継承、3. 地域の個性磨き上げ、4. 災害対応力を育てる機会提供。改めて、社会資本活用のアプローチ手法の多様性を感じます。

グローバル社会の中にあってローカルの価値を最大化していくことが命題となるなか、これらの活動は極めて意義の大きなものです。活動を支える方々の高齢化や人口減少に伴い、「若者」と「余所の人」をどのようにしてまちづくり・まちあそびに関わらせていくことができるかが、今後の取組継続と事業性担保に向けたキーワードになっていくことでしょう。地域づくりに携わる多くの方々の活動が、さらに発展していくことを祈念いたします。

## 関 幸子 委員

手づくり郷土賞を受賞されました地域、団体の方々に心よりお喜び申し上げます。

応募事業のほとんどが、地域の方々が力を合わせ連携した取り組みであるとともに、人口減少や遠い等の地域の課題を克服して、地域が一丸になって取り組んできた熱意が伝わるものでした。さらに各地の事業はどれも個性的で魅力的なプロジェクトだったと評価しています。

一般部門のグランプリの「地域の駅から世界の大歩危駅へ」の取り組みは、駅構内や周辺の清掃、桜の苗の植樹、桜のライトアップ、無人駅を休憩所兼観光案内所に改装しインターネットも整備したことで、利用者が2万5千人から4万人に増加する等の効果が大きくなっています。

大賞に輝いた「小樽雪あかりの路」事業は、厳寒地の冬の夜の厳しさを逆手にとって、寒いからこそ感じられる北の旅愁等の「静のイベント」として、延べ12万本のキャンドルの灯りが歴史的遺産である小樽運河を照らしています。20年が経過し、全国区の冬のイベントとして定着し、冬場の宿泊客数の増加、通過型から宿泊滞在型への移行、国際化に寄与しています。まさにグランプリにふさわしい事業です。

手づくり郷土賞は、地域の取り組みに光を当て表彰することで、活動への励みとなり、郷土に誇りを感じていただけるきっかけになれば幸いです。最後に、受賞されました地域の益々のご活躍を祈念いたします。

## 田中 里沙 委員

受賞されました地域、団体、関係者の皆様のご活動に敬意を表し、心よりお喜び申し上げます。今回も、地域資源である社会資本を多彩に活かした、魅力あふれる生き生きとした地域づくりに出会うことができました。応募資料には故郷への思い、活動の苦勞、成果を皆で実感された時の喜びなどが描かれ、楽しい写真やツール類もあり、想像力を働かせながら審査をさせていただきました。受賞団体の案件名はキャッチフレーズとしても特長があり、わくわくするところですが、賛同者や仲間を集い、活動の輪を広げる“巻き込み力”があるからだと感じます。資源を活かして故郷のあるべき理想の姿を掲げ、実現のためのアイデアをいつも考えている姿勢と日常こそが、地域の活力です。プレゼンテーションでお会いした方々は、熟練者から学生さんまで、活動の価値を体現する力を備えた、一緒にいると楽しくなる、大変魅力的な方ばかりでした。先人が大切にしてきたことに新たな意義を付加し、文化や芸術を開発しながら承継して行く活動は、かけがえの無いものです。受賞団体はさらにその活動を加速され、また他地域との交流から継続的な成長へのアイデアを見出されることに期待を寄せています。

## 平野 龍平 委員

受賞団体の皆さん、おめでとうございます。

地域を少しでも良くしようと、自ら考え、行動を起こし、ごく当たり前活動が続けられる皆さんに心より敬意を表します。

地域活動を継続するには、できる限りお金がかからない方法を考え、将来の担い手と最低限の活動資金を確保する必要があります。

JR大歩危駅活性化協議会は、担い手の皆さん自らが楽しみながら活動しておられ、それが波及効果を生み、地域住民だけでなく、マスコミや国内外からの訪問客も巻き込んで、地域のファンを増やし、活動を拡大していく大きな原動力になっている好事例でしょう。

過疎化が進む地域が増える中、外部からの交流人口を増加させ、外貨を獲得し、地域経済を活性化するには、地域の良さを伝える情報発信が最重要なのですが、潜在顧客の未来やビジョンを引き上げ、行動を起こす価値を提供しない限り、単なる文字の羅列でしかなく、誰も情報として意識してくれません。

実際、応募書類の書き方、プレゼンの仕方によっては、この賞の選考が左右されることもあり、情報発信の一つであるプレゼン力を磨くことは、地域の活性化にも繋がります。

この賞は、受賞団体の活動を全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資する目的があるので、事務局にも、より検索される情報発信を願うところです。

参加された全ての団体の皆さんの益々のご活躍と活動のご発展を祈念申し上げます。

## 福井 恒明 委員

今年度初めて手づくり郷土賞の選定委員を務めました。実は、お引き受けする前の私にとっての手づくり郷土賞のイメージは、バブル期に予算を潤沢に使った豪華な公共空間整備に与えられるものであり、土木景観分野を専門としている私としては、相容れないものだと感じていました。

しかし、近年の受賞案件や今年度の50件を超える応募書類を拝見すると、それが誤解であることがわかりました。どの応募案件も地域の皆さんの「手づくり」の工夫が見て取れました。地域が様々な課題を抱える中で、力を合わせてできることをやっていこうとする姿が書類の向こう側に見えるようでした。

私は地方の景観形成のお手伝いをするがありますが、最近では地域の営みを通じて結果として郷土の景観をつくりあげていく担い手の減少が気になっています。今回の審査を通じて、日本全国にそうした担い手がいらっしやり、地域を自らの力で維持していこうとする意気込みを持って活動されていることを知り、勇気をいただきました。こうした活動が相互につながっていくことが、私たちが生きていく基盤になる環境を支えることになると考えます。

受賞された案件の関係者のみなさんに心からお祝いを申し上げますと共に、応募して下さった全ての皆さんに活動の継続と発展をお願い申し上げます。



# 小樽雪あかりの路



北海道小樽市

小樽雪あかりの路実行委員会 / 小樽市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

小樽運河は、船を接岸し運搬作業を効率的に行うため、大正12年に完成した水路です。戦後、港の埠頭岸壁整備によりその使命を終えましたが、埋立を巡る論争の末に、昭和61年に現在の姿に生まれ変わりました。また、手宮線（旧国鉄手宮線）跡地は、幌内鉄道の一部として明治13年に開通した北海道で最初

の鉄道で、昭和60年の廃線後、線路や遮断機などを残し、散策路として整備されました。小樽運河や手宮線跡地をはじめとする歴史的遺産は、今や小樽を代表する観光スポットとなっており、「小樽雪あかりの路」は、こうした市民の手により守られてきた遺産をメイン会場として開催しています。



人気の観光スポット小樽運河



憩いの散策路でもある手宮線跡地

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

小樽運河が現在の姿に整備されて以降、小樽市は日本有数の観光都市となり多くの観光客が訪れていましたが、季節の変動が大きく冬期の観光客が少ない状況でした。また、通過型観光が主流で宿泊客も少なく地域への経済効果が十分に得られていませんでした。そのため、運河や手宮線跡地等の小樽の代表的な歴史的遺産を活用して冬の夜間を魅力的にし経済の活性化に繋がりたいと考え、毎年2月に10日間の「小樽雪あかりの路」を開催しています。豪雪地帯ならではの白く美しい雪でオブジェを作り、ろ

うそくのあかりのみを灯して冬の夜を演出するイベントで、小樽運河や手宮線跡地を始め、市内全体が延べ12万本ものろうそくのあかりで彩られます。ろうそくや小樽運河に浮かべるガラスの浮き玉は小樽産を使用し、できるだけ地域資源を活用します。また、オブジェを作るのもろうそくを灯すのも、延べ2,000人を超えるボランティアの人々が全て手作業で行います。人の手を掛けることに拘ることで、来てくださるお客様との心と心の交流を大切にしています。



「雪あかりの路」小樽運河会場



あかりを灯すボランティア



工夫を凝らしたオブジェの一つ

## 3 活動の成果や波及効果等

「メイドインオタル」の地域資源活用に拘ったことにより郷土愛の醸成に繋がり、小さな子供から学生、高等支援学校の生徒、お年寄りまで多くの地域住民が参加するイベントになりました。

また、ボランティア約2,000人のうち約600人の外国人の方々が、自国で小樽の魅力を自主的に発信することで、更なる小樽の国際観光都市化にも繋がっています。その成果もあり2月の外国人宿泊客数は、イベント開始前の平成10年には100人程度だったのが、平成30年には約28,000人にまで増加しています。



メイドインオタルの浮き玉キャンドル



小さな子供も雪あかりに夢中



多数参加する海外ボランティア

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

前回受賞（平成16年）時と比べ、来場者やボランティア数が増加し、特に海外ボランティアは韓国人約280人だったのが約500人、中国人が約100人と人数だけでなく参加国も増えています。また、来場者との交流を図るバックヤードツアーやスタンプラリー、関連企画として音楽コンサート開催等、幅広く活動が展開しています。

### 所在地

北海道 小樽市

### 活動主体及び連絡先

小樽雪あかりの路実行委員会  
(小樽市産業港湾部観光振興室)  
(0134-32-4111(内線267))  
<http://yukiakarinomichi.org/>

### 対象となる社会資本

小樽運河、手宮線跡地  
※管理者：小樽市

## 喜びの声



### 受賞者

小樽雪あかりの路実行委員会  
実行委員長 西條 文雪

### コメント

この度の受賞は、歴史的遺産を保存し、このイベントを考案した先人達の先見の明と、多くのボランティアの努力の賜物です。21回目の開催に向けて弾みがつきましたので、これまで以上に来場者に感動していただけるイベントを目指します。

### 活動の内容

- ・イベント「小樽雪あかりの路」の開催
- ・雪解け季節の社会資本の清掃活動
- ・公式ホームページやフェイスブック等による一年を通じた情報発信
- ・年間を通じた実行委員会3回、検討委員会約15回等のイベントの企画、運営
- ・近隣市町との共同ポスター制作等の連携活動

### 活動の経緯

- 平成10年 雪あかりの路実行委員会設立
- 平成11年 第1回「小樽雪あかりの路」開催
- 平成16年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞
- 平成18年 ふるさとイベント大賞（財団法人地域活性化センター主催）大賞受賞
- 平成30年 20周年記念誌発行



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 伊勢河崎・町並みと川を 生かしたまちづくり ～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～



三重県 伊勢市  
特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

「伊勢河崎商人館」は江戸時代、お伊勢さんへの参拝客でにぎわう伊勢の台所といわれた勢田川沿いの問屋街河崎において、300年以上続いていた酒問屋を保存・活用するために修復した施設で活動の拠点となっています。また、河崎に住む人々と訪れた人々の交流拠点としての役割を果たす場としても開放しており、住民とともに河崎のにぎわいを創出

しています。  
勢田川は伊勢市の中央部を流れる全長7キロ余りの一級河川であり、江戸時代から伊勢神宮への参宮客へ物資を供給する水運の要となっていました。その勢田川から見える景観保全等のため、明治の蔵を修復して「河崎・川の駅」を整備し、そこを発着場とした木造船「みずぎ」が運行されています。



伊勢河崎商人館



勢田川と河崎の景観



河崎・川の駅

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

勢田川の河川改修工事で川沿いの景観が大きく変貌していくなか、町中に多くの歴史的建造物が残っていたことに気づき、水運で栄えた景観の風情とともに町全体の景観保全に取り組むことになりました。この保全活動を契機に地域の歴史文化を見直し、地域文化財として歴史的な町並みや町家・土蔵は貴重な地域資源であり、まちづくりに生かそうという機運が醸成されていきました。

活動は伊勢河崎商人館を拠点とし、町並み保全、空家・空蔵の保存活用、だいどこ市・河崎商人市の開催によるにぎわい創出、勢田川を生かしたまちづくりを展開しています。

河崎の古民家や蔵に残っている古文書の整理・展示を学生学芸員と連携して実施し、そこから新たな話題を提供するなど、新たな価値と魅力を生む独創性のある活動を進めています。



空家のリノベーション



だいどこ市



古文書の整理

## 3 活動の成果や波及効果等

商いの場として伊勢河崎商人館の3棟の蔵を「商人蔵」という店舗として整備し、その蔵の中に20ブースが出店しており、その中には、カフェも開業するなど、歴史的な建造物を活用した取り組みにより、多くの観光客が訪れ、にぎわいが創出されています。また、「だいどこ市」は平成14年から183回開催、「河崎商人市」は平成13年から18回(年1回)開催しており、毎年数千人の来場があります。



商人蔵



河崎商人市

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

伊勢河崎商人館の茶道の流派である裏千家ゆかりの茶室を生かし、茶会の開催誘致を行い、百人規模の茶会を開催しています。また、地元醸造所の協力を得て、商人館ゆかりの100年以上前のサイダー「エスサイダー」の容器、ラベル、味を再現した復刻を行い、商品化・販売して好評を得ています。また、ホームページを大きくリニューアルし情報発信の強化も行っています。

### 喜びの声



#### 受賞者

特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆  
理事長 高橋 徹

#### コメント

勢田川沿いの景観保存運動から始まった河崎のまちづくりは伊勢河崎商人館の整備を契機に活動を深め、平成22年に一般部門を受賞。その後も商人館の運営を核として歴史資源を生かした様々なまちづくり事業を展開してきました。大賞を受賞できたのは継続の賜であり、今後も歴史文化の息づくまち河崎をデザインし、次世代に繋いでいく活動に努めます。

#### 活動の内容

- ・河崎地区の町並み保全活動
- ・河崎地区の歴史的町家・土蔵の保存活用事業
- ・商いのまちを継承したまちづくり活動
- ・伊勢河崎商人館の運営を核としたコミュニティの醸成
- ・河崎の歴史文化を育む勢田川を活かしたまちづくり

#### 活動の経緯

- 平成11年 NPO法人として設立
- 平成14年 伊勢河崎商人館開館
- 平成22年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞
- 平成27年 HP・パンフレット・山田羽書展示等リニューアル

#### 所在地

三重県 伊勢市

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 伊勢河崎まちづくり衆

(0596-22-4810)

<http://www.isekawasaki.jp/machisyu/>

#### 対象となる社会資本

伊勢河崎商人館、一級河川 勢田川、河崎・川の駅

※管理者：特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆、国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所、伊勢市



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 蘇った歴史の道 岩国往来



山口県 岩国市  
岩国往来まちづくり協議会 / 岩国市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

1600年、初代岩国藩主吉川広家の家族・家臣が、現在の島根県より約30kmの岩国往来を本郷から5つの峠を越え、岩国に移住しました。その後、御国廻りや岩国和紙の運搬の道として栄えましたが、現在のように道が整備されると、峠の多い岩国往来は次第に使われなくなり、忘れ去られました。2005年よりボランティアにより道を調査・復元し、歩けるようになりました。

萩藩や岩国藩は、江戸時代から「三白（米、塩、和紙）政策の一つとして手すき和紙の生産が奨励され、岩国往来沿いの山代地方（本郷・美和など）、岩国地方で和紙の生産が盛んに行われました。山代和紙、岩国和紙は品質が良く、特に大阪方面に専売品として出荷されました。和紙は藩の財政を支え、とりわけ錦帯橋は岩国和紙を財源に創建されたと言っても過言ではありません。



本郷代官所の門



五連の木造アーチの錦帯橋



岩国往来起点の今津御茶屋跡

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地元ボランティアにより岩国往来の道、史蹟、標識類等が整備され、歩けるようになりました。一里塚は2基存在していましたが、新たに地元の石を使い2基を復元、駕籠立場は3箇所存在していましたが、間伐材を使い2箇所復元しました。また、標識を約170箇所、地図案内板7箇所、案内板20箇所をすべて手づくりで設置しています。岩国往来沿いに春の菜の花、秋の彼岸花、紅葉を楽しみながら、市民ハイキング、JRふれあいウォーク、地元の小

学生、中学生が歴史、文化、自然にふれあいながら歩いています。また、江戸時代、岩国藩は和紙作りが大変盛んでしたが、現在は全く作られていませんでした。そうした中、地元中学校の行事として岩国往来を生徒と一緒に歩いたことがきっかけで、地元や生徒の協力を得て、2010年に岩国往来沿いに和紙の原料三椏を植樹しました。3月には三椏の花が咲き、とても綺麗です。



間伐材で阿賀駕籠立場を復元



地元の石で一里塚を復元



和紙の原料三椏を植樹する中学生

## 3 活動の成果や波及効果等

中学生を案内し、岩国往来を歩いたのがきっかけで、岩国往来沿いに生徒が和紙の原料三椏を植樹し、2015年より三椏を使って卒業証書を作り始めました。1年生は三椏の植樹と収穫、2年生は皮剥きと異物除去、3年生は紙すきで世界に1枚の卒業証書を作り、今年で4年目となりました。今後も卒業証書作りが継続され、江戸時代のように、和紙作りでまちが活性化し、紙すきの人材育成が出来ることを期待しています。



紙すきで自分の卒業証書を作る3年生

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

紙すきでの卒業証書作りは、2015年より始めましたが、生徒は勿論ですが、市民も関心を持ち、紙すきに参加する人が増えました。また、岩国往来を歩くイベントに市民や学生が多数参加するようになりました。

### 喜びの声



受賞者

岩国往来まちづくり協議会  
会長 藤森 勝彦

コメント

一里塚の調査がきっかけで岩国往来に出会い、各自治会やアメリカ人ボランティアの協力により手づくりで整備・復元しました。特に中学校や地元との協働で、紙すきによる卒業証書作りを今後とも継続したいです。

活動の内容

- ・道の整備、イベントの実施・案内
- ・三椏を原料とした紙すきで卒業証書作り

活動の経緯

- 平成18年 岩国往来まちづくり協議会設立
- 平成24年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞
- 平成27年 卒業証書作り開始

### 所在地

山口県岩国市 本郷、美和、岩国  
(岩国市本郷と今津を結ぶ約30km)

### 活動主体及び連絡先

岩国往来まちづくり協議会・岩国市  
(電話 0827-43-0220 藤森 勝彦)

### 対象となる社会資本

岩国往来 (岩国市道錦見43号線他)  
※管理者: 岩国往来まちづくり協議会、岩国市



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～



北海道札幌市  
新川さくら並木連合町内会

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## ① 社会資本の概要

北海道札幌市を流れる新川は、市街地西部から日本海に流れる全長 12.5kmの二級河川です。明治 20 年頃に運河を兼ねた大排水事業として四人達により造り上げられた直線の人工河川で、整備により琴似発寒川等の氾濫や低湿地帯が解消し開拓されてきました。

やがて、開拓された農地は宅地・商工業地化が進みましたが、一方で他の地域に比べ誇れるものが見当たらないとの先人達の思いがあり、新川堤防沿いに桜並木を実現し誇れる街にしたいとの夢と熱意から桜並木が整備されました。



春先の新川さくら並木



琴似川・新川・琴似発寒川の合流地点

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和 40 年代「特色の少ない新川に何か誇れるものを」との先人達の思いから始まった桜並木の構想が 30 年以上の歳月を経て平成 12 年に実現しました。「地域の人々が集い憩えるものを創り、郷土愛の醸成につなげたい」と地元住民や企業から寄付を募り平成 10 年から桜の苗木 755 本を植樹しました。新川沿いは日本海の石狩湾から冷たい風の影響を受ける地であり、-20℃でも越冬できる桜を植えるなど工夫を凝らし、今では立派な桜並木を形成し、

札幌を代表する桜の名所の一つとなっています。桜は、植えた後の維持管理も大切で、エゾヤチネズミの被害で現在までに 100 本程度の植え替えを行っています。また、病害防除のための薬剤散布、育成調査を町内会を中心とする地域の方々で実施するとともに、開花時期に合わせて町内会の行事として清掃活動やウォーキング大会を実施し、桜に親しむ活動をしています。



平成 10 年から 3 年かけ植樹が完成



桜並木の美化清掃活動



ウォーキング大会

## ③ 活動の成果や波及効果等

平成 13 年から始め、今年で 18 回目を迎える「新川さくらフェスティバル」は、連合町内会が開花時期にあわせ実施し、清掃活動やウォーキング大会には 300 名を超える参加者が集い、音楽祭には 1,500 名程が会場を訪れるイベントになりました。また、最近では小学生への地域学習活動を行い、桜並木を通じた郷土愛の醸成に努め、これらの活動が広がりを見せています。今年、植樹 20 周年を記念して行われたライトアップには地域の内外から多くの方が訪れて感動を呼び、桜並木は新川の名所から札幌の名所へと波及しています。



新川さくらフェスティバル音楽祭



小学校での地域学習活動



キャラクター「ちえりばー」  
いつまでも綺麗な川と桜をイメージ



植樹 20 周年を記念し開催したライトアップ

### 所在地

北海道札幌市北区北 23 条西 14 丁目から日本海河口付近まで

### 活動主体及び連絡先

新川さくら並木連合町内会  
(011-762-2604 新川まちづくりセンター)

### 対象となる社会資本

2 級河川新川水系 新川、琴似川  
※管理者：北海道

## ●● 喜びの声 ●●



### 受賞者

新川さくら並木連合町内会  
会長 佐久間 五十也

### コメント

この度は「手づくり郷土賞」に選定いただきありがとうございます。今までの活動が地域の誇りを創り出した証となりました。これからも子供達とさくら並木を大切に守ってまいります。小学校での学習活動で目をキラキラさせて参加してくれる 3 年生に今年も会えることを楽しみにしています。

### 活動の内容

桜並木の景観保全活動や関連活動、地域学習活動など

### 活動の経緯

- 昭和 51 年 河川法により桜植樹断念
- 平成 9 年 河川法改正  
新川連合町内会で桜並木造成事業の推進を決定
- 平成 10 年 植樹開始
- 平成 12 年 植樹が完了し翌年から清掃活動等の記念行事実施
- 平成 30 年 植樹 20 周年記念  
桜ライトアップ事業

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編



# 地域を育てる緑の道 ～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～



北海道旭川市  
緑道ワークス／旭川市



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## ① 社会資本の概要

「七条緑道」は、北海道旭川市にある都市計画道路で、日本初の恒久的歩行者専用道路となった「平和通買物公園」と交差する位置にあり、道立美術館や公会堂などの文化施設がある「常磐公園」と「旭川市民文化会館、市役所」を始めとする主要な公共施設を繋ぐ道として重要な役割を果たしています。緑道の周辺には個性的なカフェやギャラリー、雑

貨店などが広がり、道路中央に設置された散策路は、中心市街地にありながら緑あふれる穏やかな雰囲気にも満たされ、来訪者の心を癒やす憩いの空間となっています。

「緑道ワークス」の積極的な美化活動により、地域の魅力が益々高められています。



北海道旭川市のシンボルロード「七条緑道」



美しい冬のイルミネーション

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年、中心市街地から郊外への住宅地の拡大、大型商業施設の移転などに伴う中心部の活力低下に伴い、七条緑道周辺の商店や、地域を訪れる歩行者が徐々に減少していました。

こうした状況を変えるため、緑道から旭川の未来の暮らしを考えるべく地域住民を主体とするプロジェクトが始動し、緑道ワークスが旭川市初となるアダプトプログラム協定を締結したことによって、住

民主体の美化活動による地域づくりが始まりました。子どもたちがこの道で育ち、また帰ってきたいと思える場所となるように物語仕立ての空間づくりを思い描き、緑道新聞による地域情報の発信、緑道文化まつりによる子ども向けイベントの開催や、学生による地域在来植生の播種など、七条緑道という社会資本を活用した未来を見据えた取組が、産官学との連携のもと市民の手で着実に進められています。



緑道の維持管理に子どもたちも参加



学生による在来植生オオウバユリの播種



憩いの空間づくり

## ③ 活動の成果や波及効果等

市民による美化活動や、七条緑道を活用した各種イベント、新聞やSNSによる情報発信を通じて、地域の担い手としての誇り、地域資源を大切に思う意識の形成に繋がり、若い世代も緑道に関心を持ち始めています。

市民活動により七条緑道の魅力が再注目され、歩行者の回復や沿道の出店などに繋がりました。

緑道を愛する人たちの力で、未来の旭川市民のために心地よい空間づくりを進めていきます。



緑道文化まつりの学生による紙芝居



ガイド養成ワークショップ



緑道新聞による地域情報の発信とボランティアサポーター募集

## ●● 喜びの声 ●●



受賞者  
緑道ワークス  
代表 あべ弘士

### コメント

多くの人に緑道を知ってもらいたいと、地域住民を中心に理想のまちについて何度も話し合い、この場所での過ごし方や、楽しみ方をコツコツ提案してきました。お花をもらったり、通りかかったのをきっかけに参加者が増えたりと、地域の皆さんと一緒に、文字通り手作りしてきた小さなまちの活動が、全国を対象としたこの度の賞をいただくだけでも嬉しいです。自分たちらしく楽しみながら、住民の手作りでもちを創る、この想いを次の世代へと繋いでいきたいと思います。(会員一同)

### 活動の内容

- ・七条緑道の景観整備・清掃活動
- ・植栽の手入れ・緑道活用イベント
- ・未来の旭川市民に向けた地域づくり

### 活動の経緯

- 平成 25 年 再整備検討開始、緑道新聞創刊
- 平成 27 年 緑道ワークス設立  
アダプトプログラム締結
- 平成 28 年 緑道文化まつり開催(継続)
- 平成 29 年 寄付金付き商品販売開始
- 平成 30 年 七条緑道エコミュージアム開催

### 所在地

北海道旭川市7条通8丁目39番16号

### 活動主体及び連絡先

緑道ワークス  
(0166-73-8289)  
<https://www.facebook.com/ryokudouworks/>

### 対象となる社会資本

7条公園通(七条緑道)  
※管理者:旭川市



# 「増毛山道」の復元と保存による地域活性化



北海道増毛町  
特定非営利活動法人 増毛山道の会

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

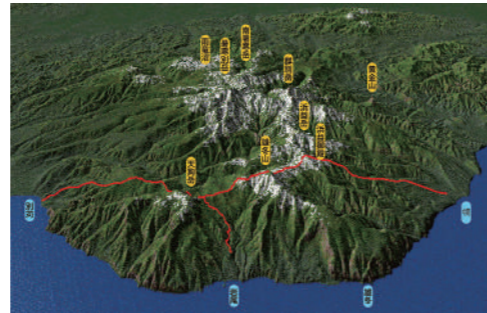
増毛山道は、増毛町別荘と石狩市幌を結ぶ約38kmの道です。この山道は、江戸時代末期にロシアの南下政策に備え、増毛の場所請負人であった伊達林右衛門が松前藩の命を受け、自費で開削し完成させたものです。その後、山道は地域の重要な交易道路として利用され、駅通も設置されていました

が、海岸線の道路や海上交通の整備により、次第に利用されなくなり、昭和43年には地図からも消えてしまいました。

幕末の蝦夷地に開削された多くの道は、人の往来が絶え、深い笹や樹林に埋もれた道が多い中で、現代に復元された増毛山道は、近世の貴重な歴史遺産です。



復元された増毛山道



増毛町岩老上空からの鳥瞰図

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

増毛山道の会が中心となり、平地を除く山道32kmの復元、笹刈りや看板設置等の維持管理とともに、山中の安全確保のため周囲の林道と保全提携し、緊急時の対応をしています。

また、貴重な歴史遺産を後世に遺すために山道に存在する遺構（電信柱、1等水準点、石積橋台等）の保存活動を行っています。

さらに、増毛山道を幅広く周知し利活用を推進するため、当会の会員がガイドする体験トレッキング、

地元の中学生を対象とした歴史や地理の出前授業と山道での体験学習を実施しています。一般向けの体験トレッキングツアーは、参加者が地元食材を使った食事や果樹園、酒蔵等も満喫できるよう工夫を凝らし、地域を巻き込んだ活動としています。

そのほか、パネル展やシンポジウムの開催、ガイドマップやホームページでの情報提供により、増毛山道の魅力を広くPRしています。



維持管理のための笹刈作業



明治40年に埋設された1等水準点



中学生が山道の歴史や地理を学ぶ出前授業

## 3 活動の成果や波及効果等

全線復元後は、札幌方面からの体験トレッキング参加者が増え、増毛町内に宿泊する参加者も増加しています。その結果として増毛町へもたらす経済波及効果も大いに認められています。

参加者アンケート結果では、増毛山道の希少性や歴史的価値を高く評価する者が7割を超え、参加者の4割がリピーターです。

また、活動を通じて収集したGPSデータを基に、一度は抹消された増毛山道ルートが国土地理院の管理する電子地図へ掲載されました。



ガイドによる電信柱の説明風景



体験トレッキングで丸木橋を渡る参加者

### 喜びの声



#### 受賞者

特定非営利活動法人 増毛山道の会  
会長 渡邊千秋

#### コメント

郷土（ふるさと）に眠っている歴史遺産「増毛山道」があることを知った時のわななきを仲間と共有し、復元着手に至るまでは、あつという間の出来事でした。

あれから10余年で増毛山道をよみがえらせ、多くの人達に歩いてもらい、北海道命名150年の年にこの賞を頂いたことは、今後の活動に大きな励みになることです。

増毛町と石狩市にまたがるこの道を、友好の懸け橋として、観光や地域振興に役だてて参りたいと考えております。

#### 活動の内容

増毛山道の復元、広報、トレッキング、維持管理、林道利用活動 など

#### 活動の経緯

- 平成22年 NPO法人設立
- 平成28年 増毛山道全線復元
- 平成29年 北海道文化財保護功労者表彰受賞
- 平成30年 「測量の日」功労者表彰受賞
- 北海道遺産選定
- 北海道地域文化選奨特別賞選定

#### 所在地

北海道増毛町別荘～石狩市浜益区幌

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 増毛山道の会  
(0164-56-0003 小杉測量設計(株) 気付)

#### 対象となる社会資本

増毛山道、町道ポンナイ津田屋道路線  
※管理者：北海道、増毛町



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 水害常襲地からの脱却！ 川との戦いから川とのふれあいへ



岩手県一関市  
特定非営利活動法人 北上川サポート協会



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## ① 社会資本の概要

北上川は総延長 249km、岩手県と宮城県を貫流する東北最大の河川です。この地域は狭あい部と呼ばれる場所であり、その地形の特徴から昭和 22 年カスリン台風、昭和 23 年アイオン台風、近年では平成 14 年の前線による大雨など幾度となく洪水被

害を受けて来た歴史があります。  
しかしながら、母なる川として古来より各地域を結び、多くの人や物資がこの北上川を往来する事で、この地域の歴史・文化・産業や美しい風土が育まれてきました。



活動の場としている北上川



活動拠点である川崎防災センター

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当協会がある岩手県一関市川崎町は、北上川、砂鉄川、千蔵川の 3 つの河川が合流する場所に位置し、古来から川の恩恵を受けるとともに水害の常習地でした。この経験から私達の中で「川は怖い場所」・「近づいては危険なもの」というイメージが強いものとなり、水辺に親しむ機会は薄れていきました。

が出発点です。地域住民と一緒に積極的な河川空間の活用と流域交流・連携や地域活性化を目的として、水辺創造活動（水生生物調査等）や環境保全活動（清掃活動等）、自然学習活動（カヌー体験等）等の多岐にわたる活動を行っており、中でも北上川流域交流 E ポート体験は E ポート大会としての規模は日本一であり、多くの参加者が水辺に親しむ機会へと繋がっています。

川好きの個人が集まり、そのマイナスイメージを回復するため「川との共生」を目指そうという想い



H14.7 台風 6 号による洪水被害  
(北上川・砂鉄川合流点)



子供達を対象とした川の流れ方、  
助け方の勉強会



地元小学生との水生生物調査

## ③ 活動の成果や波及効果等

活動を進める中で、現在では、地元小学校の授業にも呼ばれるなど、地域から頼りにされるようになりました。中でも日本一の大会規模である、北上川流域交流 E ポート大会は、中学生の体験学習の場として活用されており、地域の中学 3 年生全員がボランティアスタッフとして運営に参加しています。子供たちは様々な大人たちから仕事を学び、地域の大人たちとの繋がりをつくっています。さらに、官と民が一緒になって会場設営から運営・撤収までを行っています。縦割りで行う仕事ではなく、地域イベントをみんなで作り上げる、みんなで盛り上げる体制が確立され、地域づくりの一助となっています。



北上川流域交流 E ポート大会の様子

### ●● 喜びの声 ●●



#### 受賞者

特定非営利活動法人 北上川サポート協会  
理事長 吉田 達男

#### コメント

このたび私達の活動が評価され「手づくり郷土賞」を選定いただいたことを大変嬉しく思います。これからも私達は、「川とのふれあい」を目的に川好きの仲間を増やしながら、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいきたいと思っています。

#### 活動の内容

水辺創造活動（水生生物調査等）や環境保全活動（清掃活動等）、自然学習活動（カヌー体験等）の他、人材育成活動（救命救急講習会等）など

#### 活動の経緯

- 平成 16 年 「NPO 法人北上川サポート協会」設立
- 平成 18 年 「北上川流域交流 E ポート大会」の主管団体となる
- 平成 24 年 NPO 法人秋田パドラーズ主催の被災地支援活動への協力

#### 所在地

岩手県一関市川崎町薄衣字如来地 100-1

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 北上川サポート協会  
(0191-36-5666)

#### 対象となる社会資本

一級河川 北上川水系北上川・砂鉄川  
※管理者：国土交通省東北地方整備局  
岩手河川国道事務所



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 名勝・高田松原の再生をめざして



岩手県陸前高田市  
特定非営利活動法人  
／岩手県、陸前高田市

高田松原を守る会

## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人 高田松原を守る会  
理事長 鈴木 善久

### コメント

東日本大震災で失われた郷土の名勝・高田松原の再生に取り組む活動が評価をいただき、国土交通省の「手づくり郷土賞」に選定されましたことは、高田松原を守る会にとってこの上ない喜びです。活動を支援して下さる皆様に深く感謝いたします。

### 活動の内容

植樹祭の開催、高田松原再生講座の開催、わたしの高田松原作品コンクールの開催など

### 活動の経緯

- 平成 18 年 任意団体発足
- 平成 23 年 東日本大震災発生 ---
- 平成 23 年 高田松原再生活動開始
- 平成 27 年 NPO 法人 高田松原を守る会設立
- 平成 29 年 高田松原への植樹開始

## 3 活動の成果や波及効果等

植樹祭には、県内外から多くのボランティアが参加し、これからの高田松原への希望を抱かせる活動につなげている他、「高田松原再生講座」・「わたしの高田松原作品コンクール」を開催し、高田松原再生への関心の拡大に寄与しています。また、これらの活動を通じて、陸前高田市の交流人口の拡大にも貢献しています。



第1回高田松原再生講座（2015年2月）



第1回「わたしの高田松原」作品展（2017年2月）

## 1 社会資本の概要

東日本大震災前の高田松原は、白砂青松の美しい松原で、郷土の誇りであり、市民等多くの人々から愛され親しまれていました。松林や砂浜、古川沼などの自然に恵まれ、市民の憩いの場、健康づくりの場、楽しい思い出づくりの場となっていました。夏には県内外から多くの海水浴客が訪れ、陸前高田市

の交流人口の拡大に貢献していました。しかしながら、平成 23 年 3 月 11 日に襲来した大津波により、美しい松林は流失してしまいました。そのような中、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓の伝承、復興への意志の発信の場として、国・県・市が連携し高田松原津波復興祈念公園の整備を進めています。



高田松原津波復興祈念公園 イメージパース



高田松原再生植樹祭（2018年6月）

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国の名勝である白砂青松の美しい高田松原を守り、後世に伝えようという思いで平成 18 年 3 月に発足しました。しかし、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により陸前高田市は甚大な被害を受け、街が壊滅したことに加え、高田松原も消滅したことに市民は大きな喪失感を抱きました。

これを受け、復興に向けて市民に少しでも希望を与えられるよう、高田松原を再生させたいという会

員の強い意欲、義務感が活動を動かしており、さらなる精力的な活動が必要なため、平成 27 年に特定非営利活動法人に移行し、自治体からの補助金や助言をもらいながら防災機能を有する高田松原の再生に取り組んでいます。更に、高田松原津波復興祈念公園のグループ登録を行い、今後は、公園の管理運営について、積極的に関わっていくことにしています。



高田松原での清掃活動（2011年10月）



地元中学生による松苗植樹（2017年9月）



高田松原での除草作業（2018年7月）

**所在地**  
岩手県陸前高田市米崎町字地竹沢 62 番地

**活動主体及び連絡先**  
特定非営利活動法人 高田松原を守る会  
(0192-22-7992)

**対象となる社会資本**  
高田松原海岸  
※管理者：岩手県



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編



# 月山志津温泉雪旅籠の灯り ～雪は宝～



山形県西川町  
月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

山形県の内陸部と海沿いを結ぶ「六十里越街道」は、1200年前の古代から開かれ、内陸と庄内を結ぶ唯一の街道であり、山岳信仰の盛んだった室町・江戸時代には、湯殿山を目指す「お山詣り」と共に東北・関東各地から、ひと夏で3万人を超える行者（参詣者）で賑わったと伝えられています。



多くの人が訪れる雪旅籠

月山志津温泉がある志津地区は、内陸と庄内の接点に位置し、湯殿山行者の宿場と内陸側と庄内側から入ってくる品物の中継地として発達しました。現在は、13軒の温泉旅館・食堂が街道沿いに営業を行っており、月山の夏スキーや登山・トレッキングの観光客が大半をしめています。



雪旅籠内部の様子  
(雪のアートやパネル展示等を実施)

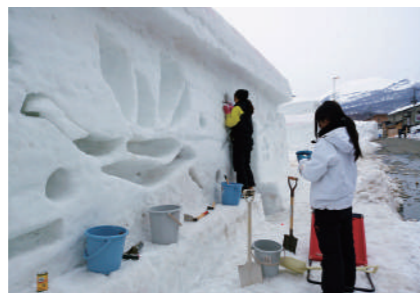
## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

月山志津温泉は、日本百名山の1つ「月山」の麓にある温泉街で、春から秋にかけて、スキーや登山、トレッキングで多くのお客様で賑わっていますが、冬場には、積雪量が6mにも及ぶ豪雪地帯のため、足を運んでくださる方が大変少ない状況です。そのような中でも足を運んでいただけるような取り組みとして、生活から排除するだけの雪を活用し、地元の人達にももっと冬を楽しめる様なイベントを開催

したいという想いから毎年実施しているものです。温泉旅館組合が中心となり、当時の六十里越街道の宿場の町並みを再現した雪旅籠の製作や広報、イベントの企画・運営を実施しています。町とつながりのある大学や、周辺地域の各種工事業者からボランティアとして協力いただき、雪旅籠（高さ8mに及ぶ）の土台を作製、最後にはすべて手作業で細かなデザインを施し完成させます。



雪旅籠製作状況



学生ボランティアによる雪旅籠製作状況



開催を記念した花火打ち上げによる  
オープニングセレモニー

## 3 活動の成果や波及効果等

県内外から多くの参加者が訪れており、昨年度は13回目を迎え、5,700人の来場者がありました。大学からは、雪旅籠の安全性・デザイン性等の助言を受けつつ、製作にも学生ボランティアとして携わり、卒業後は友人・家族と訪れるなど、継続・発展したイベントに繋がっています。



雪と氷、有機ELを使用した幻想的な空間を演出



地元特産品を使用した料理や飲み物を提供

### 喜びの声



#### 受賞者

月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会  
実行委員長 志田 昭宏

#### コメント

この度は、我々にとって「宝」である雪が、大切な観光資源であり地域資源であることを多くの方々にご理解いただいたことを心から嬉しく思います。これからも、雪国の文化を伝えていきながら「雪」を通じてたくさんの地域、人と繋がっていただけることを楽しみに活動していきます。

#### 活動の内容

雪旅籠の灯り（イベント）の運営、六十里越街道の清掃活動など

#### 活動の経緯

- 平成17年 実行委員会設立
- 平成21年 全国ふるさとイベント大賞  
地域づくりのやまがた景観賞
- 平成24年 やまがたゆきみらい大賞

#### 所在地

山形県西村山郡西川町大字志津5

#### 活動主体及び連絡先

月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会  
(0237-75-2033)

#### 対象となる社会資本

六十里越街道（国道112号）  
※管理者：山形県



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 養老桜とアートの小径プロジェクト (文化と芸術の里づくり)



千葉県市原市

## まちづくり桜植樹プロジェクト(桜さんさん会)



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

### 1 社会資本の概要

養老川は、清澄山（千葉県大多喜町）に源を発し、県内を北上して市原市を縦断し、市原市五井地先で東京湾に注ぐ二級河川です。

当会が活動している三和地区は養老川中流域に位置しており、周辺は美しい田園風景に恵まれ、奈良・平安時代以前の史跡も多数点在しています。また、



養老川沿いに広がる桜並木

かつて物流の大動脈として川船の往来で賑わっていた歴史も持っています。

三和地区の養老川沿いには遊歩道が整備されていましたが、当会の活動開始前は遊歩道沿いの手入れがされておらず、茅・竹・雑木が繁っており、人通りはさほど多くありませんでした。



養老川に浮かぶ川船（復元模型）

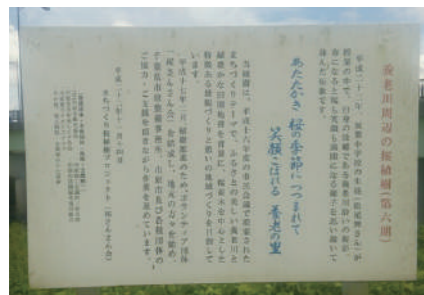
### 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成 16 年度に市原市の市民提案事業として養老川沿いの桜の植樹が提案され、その実施団体として当会を設立しました。

4 地区計 2.2km の区間に約 200 本の桜を植樹するとともに、多くの方に愛着を持ってもらえるよう、近隣の小中学生が詠った詩歌の掲示や、植樹した桜への里親の想いを記載したミニ看板の取り付けを行っています。

また、桜並木の中に設置する芸術的オブジェは、芸術家などによる選定委員会で選ばれたもので、今後 20～30 年かけてさらに充実させていく予定です。

万葉集で詠われた養老川河口付近の情景の歌詞看板の設置や、養老川の水運で活躍した川船の復元模型の制作など、養老川の歴史を次の世代に伝える取り組みも行っています。



養老川や桜の美しさを詠った詩歌を掲載した事業説明看板



里親の想いを記載したミニ看板は植樹した全ての桜に設置



オブジェは地元の方々が好きものを選定している

### 3 活動の成果や波及効果等

「文化と芸術の里づくり」という共通の夢を持った仲間ができ、活動を続けてきた結果、以前とは見違えるような景観となり、遊歩道を往来する人達が年々増えてきています。今後の桜並木の成長や設置オブジェの増加により、来訪者は更に増加していくと思われまます。

また、永年にわたる地道な活動に感銘を受けた作詞家により、桜の手入れする人達の願いや苦勞を表現した歌「養老桜」が作られるなど、活動に対する賛同・支援も増えています。



景観維持のため樹木管理や草取りを欠かさず実施



養老川沿いに設置された歌詞看板と除幕式の様子

### 喜びの声



#### 受賞者

まちづくり桜植樹プロジェクト（桜さんさん会）  
代表 河内 昌蔵

#### コメント

事業を開始して、来年で 15 年目を迎えますが、多くの仲間や関係者のご協力・ご支援のお陰で、このような大きな賞が頂けたことを大変感謝しています。

今後この活動を更に次の世代へ繋げ、多くの方々から喜ばれる「文化と芸術の里」をつくりたいと思います。

#### 活動の内容

河川敷の景観整備（桜の植樹、芸術的オブジェの設置、除草活動）など

#### 活動の経緯

- 平成 17 年 市原市の市民提案事業として桜の植樹活動開始
- 平成 25 年 オブジェの設置事業開始
- 平成 28 年 川船の復元模型の制作・設置

#### 所在地

千葉県市原市（三和地区）

#### 活動主体及び連絡先

まちづくり桜植樹プロジェクト（桜さんさん会）  
(0436-36-8573 代表 河内 昌蔵)

#### 対象となる社会資本

養老川中流域の河川敷  
※管理者：千葉県市原土木事務所



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ



福島県会津若松市・喜多方市・会津坂下町・湯川村・会津美里町  
阿賀川・川の達人の会

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## ① 社会資本の概要

阿賀野川は、栃木・福島県境の荒海山に源を発し、会津盆地を貫流した後に山間の狭窄部に入り、越後平野に出てから日本海に注ぐ日本有数の大河であり、福島県内の本川は「阿賀川」と呼ばれています。旧会津藩の城下町を流れる阿賀川は変化に富む自

然や景観を有し、その流れは流域内の社会・経済・文化の形成に欠くことのできない重要な役割を果たしており、古くから地域の人々に親しまれるとともに、多種多様な生物が確認されるなど豊かな生態系を育んでいます。



会津盆地を流れる阿賀川



阿賀川・本郷大橋周辺での小学校総合学習

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年まで「川は危ない、汚いから近づくな」という時代に育った父母が川遊びや安全確保を知らないがために、子供達が河川で遊ぶことができず、せっかく整備された河川利用施設も宝の持ち腐れでした。こうした現状を変えるため、地域の大人達を川の指導者として育成し、河川に対する理解者を増加させるとともに地域の子供達への川遊び等のサポートを一番の目的として、平成11年3月、同じ思い

を持つ有志53名が集まり「阿賀川・川の達人の会」を設立しました。

地域の大人達を川の指導者として育成する「会津めだか塾」や、子供達に川遊び等の機会を設ける「阿賀川・子供アドベンチャークラブ」の開催、小・中学校の総合学習支援、川に関わるイベントへの支援などを実施し、平成30年度で活動20年を迎えました。



川の指導者を育成する「会津めだか塾」



阿賀川・子供アドベンチャークラブでのカヌー遊びとキャンプ体験



## ③ 活動の成果や波及効果等

「阿賀川・子どもアドベンチャークラブ」では、参加した子供達の友達、親同士の繋がりで年々参加者も増加し、当初は6月から10月までの月1回の活動でしたが、それを通年の月1回の活動に拡大しました。また、「会津めだか塾」では、子供の時に支援活動に参加した人が大人になってから活動に賛同して参加したり、設立当初の会員の子供が参加するなど、20代からの幅広い年齢層の会員が増えてきています。

設立から20年を迎え、今まで取り組んできた活動により会津地区はもとより福島県内における河川に関わる活動団体として認知され、多くの団体交流会やイベントにも参加要請があり、積極的に活動しています。



イベント運営も実施  
大川ダム「若郷湖さわやかフェスティバル」魚つかみ大会

## ●● 喜びの声 ●●



### 受賞者

阿賀川・川の達人の会  
会長 佐瀬正雄

### コメント

阿賀川・川の達人の会は設立20年を迎え、多くの子供達に川を通じて様々な体験をして頂きました。今迄の実績を踏まえ、ここに受賞できたことは大変光栄に思っております。これからも次の世代に「川に遊び、川に学び、川に楽しむ」事を伝えて行けるよう活動を継続して参ります。

### 活動の内容

「川に遊び川に学ぶ」体験活動の実践、指導者の育成、環境保全活動、川に関するイベントの支援など

### 活動の経緯

- 平成11年 設立(3月)
- 平成16年 環境賞 環境教育部門受賞(会津若松市)
- 平成17年 河川功労者団体表彰(一般社団法人日本河川協会)
- 平成27年 優良団体表彰(阿賀野川水系水質汚濁対策連絡協議会)

### 所在地

福島県会津若松市・喜多方市・会津坂下町・湯川村・会津美里町

### 活動主体及び連絡先

阿賀川・川の達人の会  
(080-2821-9758)

### 対象となる社会資本

一級河川 阿賀川  
※管理者：国土交通省 阿賀川河川事務所



囲み箇所は、主な活動場所

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# レールマウンテンバイク 「Gattan Go!!!」 ～自転車とレールで風になる～



岐阜県飛騨市  
特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## ① 社会資本の概要

岐阜県飛騨市神岡町は、古くから鉱山の町として発展してきた山あいの町で、この町には「神岡鉄道」という鉄道が走っていました。鉱山からの貨物の運搬や地域住民の足として、奥飛騨の豪雪地帯にありながら、国道が積雪のために不通になった日にも1日も休まず、地元住民の生活を支え続けた自慢の鉄

道でしたが、鉱山事業の縮小やそれに伴う地域人口の減少などにより、平成18年に廃線となりました。しかし、その雪深い鉱山の町を支え続けた旧神岡鉄道の面影や、軌道・トンネル・高架など、先人たちの熱意で築いた鉄道遺産は「町のシンボル・地元民のルーツ」といえました。



春の神岡鉄道



鉱山の町・神岡を支えた神岡鉄道

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

町のシンボルともいえる鉄道遺産を活用した、廃線となった線路の上を走る新感覚のアクティビティ「レールマウンテンバイク」を地元鉄工所なども連携して開発、運営しています。鉄道資産を自分たちの手で作った「乗って楽しい」乗り物を走らせることで「そのままの形」で保存し活用したい、そして残された鉄道資産を取り巻く「町並み」を子供達の世代に語り継いでいきたいという思いが原点で

す。創業当初はイベント的な運行でしたが、平成24年から平日を含めた毎日の運行を開始しました。年間の利用客数は4万人を超え、周辺の観光地にも大きな波及効果を生み出しています。また、鉄道保全活動を深め町おこしを進めるため、全国応募者によるマクラギ交換体験会や廃線路ウォーキングなど多彩なイベントを開催し、啓発活動も続けています。



専用のマウンテンバイクで廃線レールの上を走ります。奥飛騨の町並み、スリル満点の渓谷の景色が広がります。

## ③ 活動の成果や波及効果等

全国的にも類を見ない乗り物のカタチ、地元住民が中心となって活動していることから、マスメディアへの高い露出があり、閑散としていた過疎の町が一躍脚光を浴びました。

平成29年には、旧神岡鉄道の「おくひだ1号」の復活運行をメインとした「ロストラインフェスティバル」を開催。この中では、全国で廃線を使った観光利用、町おこしをする団体を招いたシンポジウム開催や、情報交換、相互交流を目的とした「日本ロストライン協議会」設立などもあり、活動を全国に広げています。

平成30年には既存の「まちなかコース」に加え「渓谷コース」を新設。魅力向上による更なる利用者増を目指しています。



平成29年に行われた「おくひだ1号」復活運行

### ●● 喜びの声 ●●



#### 受賞者

特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク  
理事長 鈴木 進悟

#### コメント

今回の表彰ありがとうございます。  
平成14年から16年間活動してきました町づくりに対する評価が認められ、勇気を与えられた気持ちです。今後も町の活性化に時代とともに変化する環境の中、アイデアを出し続けていこうと思います。

#### 活動の内容

- ・レールマウンテンバイク (RMTB) 事業運営
- ・町づくりボランティア活動
- ・町並み環境保全
- ・文化の継承
- ・他団体への協力 等

#### 活動の経緯

- 平成14年 NPO法人 神岡・町づくりネットワーク設立
- 平成15～ ふるさと散策の道
- 17年 (がおろの道) 計画・整備
- 平成19年 RMTB 運営開始
- 平成29年 日本ロストライン協議会設立

#### 所在地

岐阜県飛騨市神岡町

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク  
(090-7020-5852)

#### 対象となる社会資本

飛騨市ロスト・ライン・パーク (旧神岡鉄道)  
※管理者：飛騨市



# 美濃和紙あかりアート展



岐阜県美濃市  
美濃和紙あかりアート展実行委員会



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

「美濃和紙あかりアート展」の会場となる「うだつの上がる町並み」は、かつては六街道が放射線状に延びる交通の要であり、長良川による舟運により物資の集積の地となり、紙商など商家の町として発展しました。東西 280 間の 2 筋の通りと南北 70 間の 4 筋の横町からなる「目の字通り」には、防火壁の機能とともに権威の象徴として商人が競って豪華に飾った「うだつ」が今なお残り、落ち着いた佇まいと様々な商家の営みが息づいています。特に、平成 11 年国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた後、国土交通省のまちづくり総合支援事業により電線類地中化及び道路修景が行われ、より風情ある町並の景観へ移りかわりました。更に、まちづくり交付金により観光多目的広場や駐車場が整備

されたことで慢性的な駐車場不足を補い、観光客の誘客に弾みがついていきました。



うだつの上がる町並 (電線の地中化、道路修景整備)

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成初期の「うだつの上がる町並み」一帯は時代に残された閑散とした町並みとなっており、衰退が危惧されていました。そこで、「周回遅れのトップランナー」となるべく、美濃ならではの、洗練されたイメージを創出し、活気ある町並みにするための新しいコト「美濃和紙あかりアート展」を美濃市政 40 周年のタイミングで始めました。

「美濃和紙あかりアート展」は 1300 年の伝統が

ある美濃和紙を使ったあかりのオブジェを全国公募し、応募があったすべての作品をうだつの上がる町並みに展示することで、町並み一帯が明かりに照らされ幻想的な景観を生み出します。また、作品は出品者が自ら会場へ来場して展示することを原則としており、応募者自らにあかりアート展を体感してもらうとともに、宿泊などにより周辺施設等への経済効果も出ています。



美濃和紙あかりアート展



展示風景



会場風景

## 3 活動の成果や波及効果等

「美濃和紙あかりアート展」の実施に当たり、中学生から社会人までの地元のボランティアが 400 名以上活動しており、地域一体となった取り組みとなっています。国内では東京、愛知、奈良等、海外ではイタリア、韓国、台湾のイベントにおいて作品を展示し、また、「全国あかりサミット」の開催を提唱し、日本各地のあかりイベントと交流をするなど、各地との絆を深めるとともに、「美濃和紙あかりアート展」のブランド構築をしています。



ボランティア (高校生) による作業



目黒 ホテル雅叙園  
「和のあかり×百段階段」



美濃和紙あかりアート展  
in アマルフィ大聖堂

## 喜びの声



### 受賞者

美濃和紙あかりアート展実行委員会  
委員長 田代 智亜紀

### コメント

平成 30 年に 25 回目の美濃和紙あかりアート展を開催することができました。この 1 / 4 世紀の間に、会場の「うだつの上がる町並み」では、観光客や店舗が増加、本美濃紙は、ユネスコ無形文化遺産に登録され、美濃への注目が一層高まりました。今後も市の発展の端緒となるよう、活動を継続していきたいと思ひます。

### 活動の内容

- ・美濃和紙あかりアート展の開催
- ・国内外での作品展示など

### 活動の経緯

- 平成 6 年 第 1 回開催
- 平成 13 年 第 6 回ふるさとイベント大賞受賞 (総務大臣賞)
- 平成 20 年 第 1 回ティファニー財団伝統文化大賞受賞
- 平成 21 年 第 26 回地域づくり表彰  
日本政策投資銀行賞受賞
- 平成 30 年 GOOD DESIGN 賞受賞

### 所在地

岐阜県美濃市うだつの上がる町並

### 活動主体及び連絡先

美濃和紙あかりアート展実行委員会  
(0575-33-1122)  
<https://www.akariart.jp/>

### 対象となる社会資本

岐阜県美濃市うだつの上がる町並み一帯  
(美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区内)  
※管理者：美濃市



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 「雲原砂防イベント」 (よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」)



京都府福知山市  
「雲原砂防イベント」実行委員会



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## ① 社会資本の概要

雲原砂防は、昭和9年の室戸台風による災害を契機に実施された我が国の砂防計画の先駆けであり、周辺の村づくりと一体に人々の暮らしを向上させた歴史的価値のある砂防施設群です。

当時の砂防事業が周辺の村づくりと一体に行われ人々の暮らしを向上させた歴史的価値と砂防施設を含むすばらしい景観が評価され、平成18年7月に

砂防施設としては初めて国の登録記念物として登録されました。

雲原砂防は、砂防の理想とする砂防施設の配置や流路工の線形改良などの計画をそのまま実施した日本で初めての工事であり、「日本近代砂防」への出発点となるものです。



雲原地域の風景



国登録記念物第1号となった「雲原砂防施設群」

## ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

雲原砂防施設群の登録と時を同じくして、過疎少子高齢化が進む雲原川流域の地域住民や各種団体が集い、地域の英知を結集して歴史的資産である「雲原砂防」を活かした地域づくりを展開するため、実行委員会を設立しました。

砂防施設や地域の名勝等を巡る地域探訪ツアーや、雲原川でのドラム缶転がしタイムレースを毎年

実施しており、この豪快なレースは、毎回来場者が千人を超える世界にひとつの大会となりました。地域の交流拠点となっている「みんなの水車広場」では、復元した水車で精米した水車米を地域ブランド米として販売、地域特産物を使った販売所の整備・運営など、様々な取組を行い、地域住民の手による地域活性化を進めています。



世界でひとつの「ドラム缶転がしタイムレース」



地域資源を活かした地域探訪ツアー

## ③ 活動の成果や波及効果等

取組を通して住民の間でのコミュニケーションが密になり、若い女性が移住したり、Uターン者も出るなどの定住化にもつながっているばかりか、移住者が農家民宿を運営したり、老舗のそば屋を承継するなど地域に大きな変化をもたらしています。

近年では、交流を通じて「雲原ファン」が増え、その方々の力も合わせてイベントの企画運営をするなど地域外との交流が広がっています。



地域の交流拠点として賑わう水車広場



力をあわせて復元した水車と、水車で精米した地域のお米

### ●● 喜びの声 ●●



#### 受賞者

「雲原砂防イベント」実行委員会  
委員長 清水 順次

#### コメント

このたびは、身に余る賞をいただき、地域としても大変驚いています。この誉に恥じぬように、今後とも地に足をつけてみんなで一步一步前進していきたい。

究極の目標は、再びこの地域に学校が再開校出来るような地域づくりを目指して、みんなで取り組んでいきます。

#### 活動の内容

雲原砂防の紹介、地域探訪ツアー、地域の情報発信、交流施設の整備・運営 など

#### 活動の経緯

- 平成19年 実行委員会設立  
ドラム缶転がしタイムレースを開催  
地域探訪ツアーを開催
- 平成20年 地域の交流拠点整備  
みんなの水車広場で水車復元  
北陵うまいもん市「雲原店」の運営開始

#### 所在地

京都府福知山市雲原 661-2

#### 活動主体及び連絡先

「雲原砂防イベント」実行委員会  
(090-1900-2048)

#### 対象となる社会資本

雲原砂防施設群  
※管理者：京都府中丹西土木事務所



# 京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり



## 京都府長岡京市 特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

### ① 社会資本の概要

乙訓（おとくに）地域の地形は西が西山連峰、中央部は丘陵、東は平地と桂川で風光明媚な自然環境に恵まれています。その西山は落葉樹・常緑樹が入り乱れて育っており、その数 1,000 種を超えるともいわれている自然の宝庫です。



紅葉で落ち葉道となった「西山古道」

「西山古道」は、この地域の善峯寺、光明寺、柳谷観音を結ぶ道として、昔は山岳信仰の道として利用されていました。三ヶ寺をゆっくり巡拝し、自然の道「西山古道」を歩くことで、自然の恵みを思い切り満喫することができます。



柳谷の門前に植樹した「陽光桜」

### ② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

当地は長岡京として、平安京に遷都するまでの 10 年間日本の首都でした。歴史あるこの地を知って貰うため、「京おとくに・観光文化検定」を実施し、試験後に受験者約 50 名が市民活動団体を結成しました。

歴史ある信仰の道「西山古道」をハイキング道として復活させ（総延長 7km）定期的に整備補修を現在も継続しており、ハイカー向けには西山古道を

含む西山連峰トレッキングマップを発行（現在までに 7 千部販売）するなど、今では関西の人気コースとして、おとくに地域への観光客の訪問に一役かっています。

平和の桜「陽光桜」を 8 年間で 400 本の植樹するなど、花と緑の街づくりを進めています。今では国内でも珍しい陽光桜が多く咲く地域となり、観光客も多く集まるようになりました。



平成 19 年に「京おとくに観光文化検定」を実施。約 250 名が参加



西山古道で杉の丸太橋を手摺付きのパイプ橋に架け替え

### ③ 活動の成果や波及効果等

おとくに地域をより知ってもらおうと西山連峰トレッキングマップや乙訓の観光ガイドブックを制作し、書店等で販売と JR 京都駅の観光案内に西山古道案内チラシを配架したり、京都西山を中心としたハイキングを主催することで、地域の魅力を PR しています。

由緒ある柳谷観音では、縁日の参拝者にお土産として、地元の桜で燻した「スモークチーズ」を開発・販売しており、京おとくにの新たな特産品として人気を博する等独自で情報発信と街づくりを展開しています。



平和の桜「陽光桜」を乙訓地域に 400 本植樹



ガイドブックや特産品の開発で地域の魅力を PR

### ●● 喜びの声 ●●



#### 受賞者

特定非営利活動法人  
京おとくに・街おこしネットワーク  
代表 中山 秀亞

#### コメント

「もっと多くの人に地元を知ってもらいたい」との思いで元気に活動を続けており、この度の受賞は大変うれしく思っております。今後も従来の魅力に、「西山古道」の復活や全国有数となった陽光桜の植樹等新しい魅力を加え、地域からの情報の発信と地域活性化を進め、魅力ある街づくりを目指してまいります。

#### 活動の内容

西山古道の整備、花と緑の街おこし、京おとくに観光ガイド、京おとくにの特産品開発 など

#### 活動の経緯

平成 20 年 設立  
「西山古道」の整備を開始  
平成 22 年 「陽光桜」の植樹を開始  
平成 26 年 市制施行 40 周年記念感謝状受賞（長岡京市）

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

#### 所在地

京都府長岡京市梅が丘 2-78

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク  
<https://kodou1.jimdo.com/>

#### 対象となる社会資本

西山古道、府道伏見柳谷高槻線（府道 79 号線）  
※管理者：長岡京市



# 子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり ～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～



島根県出雲市・雲南市・奥出雲町・飯南町  
特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

斐伊川水系斐伊川は、船通山（標高：1,143m）に源を発し、宍道湖～大橋川～中海～境水道を経て日本海に注ぐ、幹川流路延長 153km の一級河川です。斐伊川下流部にある宍道湖・中海は全国でも珍しい連結汽水湖を形成しており、冬場には多くの水鳥が飛来する日本有数の飛来地です。平成 17 年に



天井川で有名な斐伊川下流

は国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録され、平成 29 年には日本ジオパークにも認定されています。また、近年はコウノトリの営巣が 2 年連続確認され、斐伊川全域において大型水鳥の飛来地として注目を集めており、斐伊川流域において豊かな自然環境が着目されています。



河口付近で越冬するコハクチョウ

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

斐伊川流域は豊かで貴重な自然が今なお残されている環境にありますが、近年の子ども達は自然にふれる機会が減少しており、環境に対する興味や関心の低下が懸念されています。こうした中、ふるさと学習、環境学習の一環として、子ども達が河川の上流から河口までの流域全体で川の水質等の環境調査を実施することにより、自然体験不足の子ども達に生まれ育った川での体験を通じて、ふるさとの自

然を理解し環境に対する興味・関心を抱かせ、河川環境保全活動のきっかけを作ることを目的としています。また、体験した内容を HP で環境マップとして蓄積・公開することや、子ども達による成果発表会を行なうことで、流域住民の関心を向上させ、流域全体で川の環境保全について課題を共有化し、今後の地域づくりに活かしています。



河川調査



成果発表会



環境マップ報告書

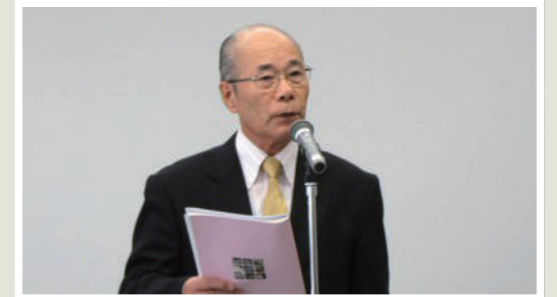
## 3 活動の成果や波及効果等

近年、学校教育者の多忙な状況下において、河川が地域の環境に果たす役割を子供達に伝えることは非常に重要です。このため、学校での河川環境調査を指導する教員を対象とした指導者研修会を開催することによって、自らの体験も少ない教員の河川への関心を高めるとともに、指導力を向上させ質の高い河川環境調査が実施できています。また、河川調査を通じて学校と地域の協力関係が構築できており、これまで延べ 14,271 人の児童生徒が参加しています。

体験不足の子ども達が、ふるさとの川での河川調査体験を行うことで、川の生きものに対する関心が高まり、ふるさとを愛する心や河川環境保全に対する意識の向上が図られています。また、成果発表会を開催することで、子ども達の気づきや他校の取り組みを知り、河川調査や環境保全活動の質を高めるとともに、今後の参加校の活動に役立てています。

さらに、報告書やポスターを流域の学校・図書館・コミュニティセンター・公民館等へ配布することや、島根県の HP で調査結果を公表することで流域全体に河川環境の情報を発信することができています。その結果、上下流の一体感が生まれ、流域全体で川への関心が高まっています。

### 喜びの声



#### 受賞者

特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター  
理事長 青木 充之

#### コメント

17年に渡って小・中・高校生と共に河川環境調査に励んできた取り組みが認められ、このような素晴らしい栄誉を受賞でき、今後の活動に大いに励みとなります。

#### 活動の内容

- ・河川調査指導者研修会開催（5月）
- ・春・夏・秋の調査（水質・水生生物）（6～10月）
- ・河川環境調査成果発表会の開催（11月）
- ・学校・地域で調査の成果を報告（12月）
- ・県 HP の流域環境マップ（Web-GIS 地図）の作成と公開（2月）
- ・流域学校・図書館・公民館等へ報告書等の配布（2月）

#### 活動の経緯

- 平成 14 年 島根県中山間地域研究センターリニューアルオープン記念事業第 1 号として、活動スタート
- 平成 19 年 しまね体験活動支援センター設立

#### 所在地

島根県出雲市佐田町八幡原 109 番地

#### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター  
(090-7132-9981)

#### 対象となる社会資本

斐伊川水系斐伊川・神戸川  
※管理者：国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編



# 宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～



岡山県玉野市  
特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

岡山県南央、児島半島の基部に位置する宇野港は、周囲を山と島に囲まれた天然の良港で、古くから本州と四国、瀬戸内海の島々を結ぶ“海の玄関口”として発展してきました。

昭和63年の瀬戸大橋開通により、宇高連絡船の廃止など、海上交通体系の再編を余儀なくされましたが、平成18年に大型客船バースが供用されて以



瀬戸内海の玄関口「宇野港」

降は、観光・人流港としての役割を担っています。平成20年5月には宇野地区一帯が「みなとオアシス」の登録を受け、住民参加型のみなとまちづくりにも積極的に取り組んでいます。

近年はクルーズ客船の誘致にも力を入れており、客船入港の際は乗客、乗員、一般市民を対象としたおもてなしイベントも開催されています。



クルーズ船おもてなしイベント

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

UNOICHI 実行委員会は地元の高校生を中心とした団体で、若い感性、地域活性化への意欲を形にして、宇野港や瀬戸内海が持つ魅力を世界に発信し、観光振興や移住促進を目標に活動しています。

主催するマルシェイベントでは、玉野市だけでなく、岡山県内や瀬戸内の島々にある個性溢れるお店に出店を依頼し、港ならではの繋がり、海を眺めながらゆったりと過ごしていただく空間を提供して

ます。高校生、大学生は“海をもっと身近に感じてもらいたい！”を合言葉にそれぞれの専門分野の枠を超えて企画立案を大人と一緒にしています。

イベントでは、瀬戸内ならではの美味しい食べ物や飲み物、スイーツ、本やグッズが集まり、ものづくり体験ワークショップや、音楽の生演奏なども楽しめます。



イベントポスター



地元の高校生も毎年参加

## 3 活動の成果や波及効果等

活動を通して、多くの方々に宇野港へ関心を持っていただき、来場者の増加等、港を中心とした地域の賑わい創出につなげることができています。

平成29年には、港の集客の向上に大いに貢献している点が評価され、日本港湾協会企画賞を受賞、平成30年には大学生を中心に UNOICHI TOKYO チームが発足するなど、広がりを見せています。

また、プラスチックごみの削減等による海洋環境保全を目的とした「SOS (Save Our Sea) プロジェクト」を開始するなど、今後も地域資源と若者をつなぐ様々な活動を続けていきます。



港湾緑地にてマルシェイベントを開催



日本港湾協会企画賞受賞 (玉野市長報告会)



UNOICHI エコボトル (SOS プロジェクト)

**所在地**  
岡山県玉野市  
**活動主体及び連絡先**  
特定非営利活動法人 UNOICHI 実行委員会  
(0863-55-4339)  
<http://unoichi-tamano.com/>  
**対象となる社会資本**  
宇野港宇野地区 第一突堤 大型客船バースおよび第三緑地  
※管理者：岡山県

## 喜びの声



**受賞者**  
特定非営利活動法人 UNOICHI 実行委員会  
理事長 小倉 理史

**コメント**  
『手づくり郷土賞』と誇れる賞をいただいたことに感謝の想いでいっぱいです。そして、全国の熱意ある方を前に高校生が自分の行ってきたことを交え、語れる機会をいただけたことにも感謝の想いでいっぱいです。

今後、更に若い世代が活躍できる環境、場所を作り、きちんと収益も作り、事業展開を行うことが地域活性であり、地域資源でもあると信じて。

**活動の内容**  
・UNOICHI ～海が見える港のマルシェ～  
・SUMMER STYLE (クルーズイベント)  
・SOS (Save Our Sea) プロジェクト など

**活動の経緯**  
平成25年 団体設立  
以降マルシェイベントを中心に毎年4、5回のイベントを開催  
平成29年 日本港湾協会企画賞受賞  
港湾協力団体に指定  
平成30年 TOKYO チーム発足



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 地域の駅から世界の大歩危駅へ



## 徳島県三好市 JR大歩危駅活性化協議会

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

### 1 社会資本の概要

徳島県三好市の大歩危（おおぼけ）地区は、四国の中央に位置し、美しい渓谷景観が楽しめる吉野川や西日本第二の高峰「剣山」、平家の落人伝説が残る「祖谷（いや）」、日本三大奇矯「祖谷のかずら橋」など、豊かな自然や歴史文化が残る秘境の地として



JR 大歩危駅

国内外から多くの観光客が訪れています。

活動の舞台である「大歩危駅」は、JR土讃線における徳島県内最後の駅であり、大歩危地区の主要な観光地の玄関口として、地域のシンボリックな存在として広く親しまれています。



駅のホームと吉野川

### 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年の少子高齢化や人口流出などにより、大歩危駅周辺の集落活動が低下している中、平成 22 年 10 月に駅が無人化されました。

そこで、更なる地域経済の低下や観光客への影響に危機感を持った地域住民が大歩危駅に賑わいを取り戻そうと立ち上がり、「JR 大歩危駅活性化協議会」を設立しました。

活動では、地域の方々が気軽に参加して食事を取

りながら意見交換する「キッチン会議」で様々なアイデアを出し合い、駅周辺の清掃活動や桜の苗の植樹、桜のライトアップ、駅員室の休憩所兼観光案内所への改装、4 か国語表記の手づくり案内看板の設置、駅ホームでの観光客のお出迎えなどの駅利用者や地域の方々に喜んでもらえるような活動を行っています。



JR 大歩危駅活性化協議会の取組が生み出される「キッチン会議」



多くの方々が来場する桜のライトアップ



ホラ貝の演奏や揃いの衣装で駅に到着する観光客を歓迎

### 3 活動の成果や波及効果等

協議会の活動により、大歩危駅は、利用された方がホッと安心して休息ができ、国内外の観光客の方や地元の方みんなが交流できる憩いの場所になりました。

無人化された平成 22 年の駅利用者数は、年間約 2 万 5 千人でしたが、平成 30 年は、約 4 万人の方が利用するまでに増加しており、協議会の活動が駅の利便性の向上や地域の活性化に寄与しています。

また、大歩危地区はここ数年、観光雑誌などで紹介され、大歩危駅には様々な国からの観光客が急増しており、大歩危駅を通じて世界へ交流の輪が広がっています。



交流の場所に生まれ変わった駅舎



現在は多くの観光客で賑わっている



大歩危駅を訪れる外国人観光客を協議会の会員がお出迎え



### 喜びの声



手づくり郷土賞受賞記念発表会  
～グランプリ2018～

#### 受賞者

JR 大歩危駅活性化協議会  
会長 山口 頼明

#### コメント

地域の課題を自分事として捉え、一人一人が主体的に行動し、日々地道な活動を積み重ねてまいりました。その結果、このような名誉な賞の受賞に繋がりましたことは、感慨無量です。また、この地域にお越し頂いている全ての方々にも感謝申し上げます。この賞を励みに、更に魅力的な地域となれるよう活動を継続し、次世代へと繋いでまいります。

#### 活動の内容

- ・ 駅構内や駅周辺の清掃活動
- ・ 桜の苗の植樹、桜のライトアップ
- ・ 駅舎の改装、外国語案内看板の設置
- ・ 駅ホームで観光客のお出迎え など

#### 活動の経緯

- 平成 22 年 JR 大歩危駅が無人化協議会設立（活動開始）
- 平成 25 年 駅舎改装
- 以後、大歩危駅周辺へ拡大しながら活動を継続中

#### 所在地

徳島県三好市西祖谷山村徳善西 6

#### 活動主体及び連絡先

JR 大歩危駅活性化協議会  
(0883-84-1111 ぼけマート内)

#### 対象となる社会資本

JR 大歩危駅  
※管理者：四国旅客鉄道株式会社



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 上下流の人々をつなぐ 筑後川源流の保全活動 ～植樹交流で下笠ダム湖のある地域を心の故郷へ～



大分県日田市  
特定非営利活動法人 下笠ダム湖と森の会 / 日田市、福岡市

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

下笠ダムは、筑後川水系津江川の上流、熊本県阿蘇郡小国町と大分県日田市中津江村にまたがって建設省（現在国土交通省）によって建設された多目的アーチダムで、1974年から管理が行われています。建設当時、ダム反対派が建設予定地を占拠して争い、その後の公共事業のあり方に一石を投じた「蜂の巣闘争」

闘争」で全国的に有名になり、その後の公共事業のあり方について見直されるきっかけとなりました。

現在は、ダム湖に映る桜並木、鮮やかな新緑や紅葉など豊かな自然の中、ダム湖を活用したレジャーやダム湖を見渡せる蜂の巣湖公園（日田市）など賑わいをみせています。



その後の公共事業のあり方に一石を投じた「蜂の巣闘争」※写真は蜂の巣城



秋の下笠ダム 四季折々の景観を楽しむことができる場所

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成 15 年頃、日田郡日中津江村は、日田市と郡部の合併が話題になり始め、地元住民の間で、これからの行政の財源緊縮、また高齢化や人口減少など生活への不安が深刻化しており、強い危機感から、「地元野田地区を活性化したい、地域を自分たちで守りたい」との思いで、有志 30 名により、平成 19 年 4 月に「NPO 法人 下笠ダム湖と森の会」を立ち上げました。

その活動理念は、下笠ダムという地域資源を活か

し、地元の力で地域を美しくする活動を行い、広大な交流活動として、上下流交流（山間部・都市間交流）を行うことです。

ダム完成の 15 年後の昭和 63 年より開催している「蜂ノ巣湖桜まつり」は、平成 14 年より新たに福岡市水道局及び市内子ども会連合会（交流団）を上下流交流のパートナーとして迎え、今年で 30 回目となりました。



第 16 回蜂ノ巣湖桜まつり（平成 15 年）の福岡市交流団との交流会の様子



第 30 回蜂ノ巣湖桜まつり（平成 30 年）地元みんなの力により 30 回継続



福岡市城南地区・野多目地区の子供たちと地元の中津江っ子クラブとの交流

## 3 活動の成果や波及効果等

桜まつりでは、平成 14 年から、福岡市城南地区・野多目地区の子供たちと地元の中津江っ子クラブとの交流が図られるようになりました。学習要素の部分がある桜まつりでは、上下流の子供たちに水の大切さや森の大切さを理解してもらうことができおり、毎年 300 名を超える参加者となっています。

また、桜まつりで実施している植樹活動では、これまでに約 4,000 人が活動に参加し、8,000㎡のダム湖畔（国用地）に約 800 本の山桜などを植樹したり、自身の看板設置によるオーナー制度により、都会の子供たちが再度この地を訪れるきっかけとなっているなど、広域の地域交流が、ダム湖周辺の維持管理に寄与しています。



植樹活動の様子。地元は、大きく育つように気をつけながら日々管理しています。

### ●● 喜びの声 ●●



**受賞者**  
特定非営利活動法人 下笠ダム湖と森の会  
代表理事 川津 桂男

**コメント**  
今回の受賞は、これまでの私たちの活動と、行政との連携を認めて頂いた成果だと思えます。これからも地域を守っていくという強い思いを持って、筑後川源流の下笠ダム湖周辺の保全活動を通じ、この地域が心の故郷（ふるさと）となれるよう交流し続けたいと思います。

**活動の内容**  
・福岡市と地元による上下流交流活動（植樹及び草刈り管理、竹林整備とたけのこ掘り）  
・ダム湖の水質調査、ダム周辺環境監視活動

**活動の経緯**  
平成 19 年 団体設立（昭和 63 年活動開始）  
平成 28 年 一般財団法人日本ダム協会表彰  
平成 30 年 第 30 回蜂ノ巣湖桜まつり開催

**所在地**  
大分県日田市の中津江村栃野 5333

**活動主体及び連絡先**  
特定非営利活動法人 下笠ダム湖と森の会  
(0973-54-3922)

**対象となる社会資本**  
下笠ダム  
※管理者：国土交通省筑後川ダム統合管理事務所



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 花とアートのか岬「香々地」 ～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～



大分県豊後高田市

特定非営利活動法人

長崎鼻B・Kネット／豊後高田市

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

長崎鼻は、国東半島北部の先端近くに位置する岬で、国東半島県立自然公園に指定されています。この岬の先端部にある行者洞穴（海食洞穴）は、大分県の天然記念物に指定されるとともに、大分百景のひとつにも選定されています。また、ここにあるキャンプ場は、恵まれた自然環境の中にあるキャンプ場として知られ、都市部からのリピーターが多い人気のキャンプ場です。この自然公園である長崎鼻に通じる市道堤長岬線の景観を向上させるため、平成19年度より市道沿線の清掃・草刈や菜の花、ひまわり、コスモスといった花を季節毎に植えることにより訪れる人々に感動を与えています。現在では、周防灘の碧い海をバックにした花を楽しむために訪れる観光客も多くなっています。



市道沿線に咲くコスモス

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

長崎鼻へ向かう市道沿線の耕作地は、私有地ということもあり何年も手つかずの荒れ果てた状況でしたが、長崎鼻を菜の花やひまわりで埋め尽くし、地域の活性化につなげたいという強い思いで集まったボランティア有志5人から取組がスタートしました。季節に応じた花の作付けを行うことにより一年を通して壮大な景観を創出しており、春には「菜の花フェスタ」、夏には「ひまわりフェスタ」の二大

イベントを毎年実施しています。イベントの開催にあたっては、当該団体の会員だけではなく地域の方と連携して準備を進めるとともに、菜の花とひまわりの種まきは、保育園児や小学生、自治会や老人会など幅広い世代で一緒に取り組まれており、地域の景観を共に守り後世に継承してつなげていく故郷への愛情と責任感が地域全体で醸成されています。



満開のひまわり（ひまわりフェスタ）



小学生による種まき作業

## 3 活動の成果や波及効果等

当初開墾した面積2,900㎡が、10年余り発展的に活動を継続したことにより、現在では50倍以上もの面積に拡大し、2,000万本の菜の花や150万本のひまわりが咲く壮大な景観を創出し、様々なイベントを通じて地域の活性化に貢献しています。行政と連携したイベントでは、大分県・中津市・宇佐市・豊後高田市合同企画の「絶景」周遊スタンプラリーを行い、絶景スポットとして訪れるおすすめスポットの一つとなっています。そして、活動を継続するうえでは、可能な限り行政に依存することのないよう搾油事業により活動費を捻出するとともに、これまでに15人の雇用が創出されています。



アート作品  
花のピラミッド 色色色  
(チェ・ジョンファ)

ひまわりや菜の花の種からの搾油事業によって雇用を創出



## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人 長崎鼻B・Kネット  
理事長 近藤 哲憲

### コメント

訪れる人々が綺麗な花畑を見て感動してくれる喜びは、私たちの活動の励みになり、地域に元気が戻ってきました。また、花々の種から摂れる健康オイルも六次産業化したことで、地域はもとより、移住者の雇用にも繋がってきています。今回の受賞を大変嬉しく思うと同時に、今後のさらなる躍進へ向けての大きな励みとなりました。

### 活動の内容

- ・花とアートの岬づくりによる交流人口の拡大
- ・植物油の六次産業化の取組による、地域、移住者の雇用拡大
- ・リゾートキャンプ場の管理、運営

### 活動の経緯

- 平成19年 畑の再生活動に着手
- 平成22年 任意団体長崎鼻B・Kネット設立
- 平成25年 NPO法人化

### 所在地

大分県豊後高田市見目堀切地区

### 活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 長崎鼻B・Kネット  
(0978-54-2200)

### 対象となる社会資本

市道堤長岬線  
※管理者：豊後高田市



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 大塚台団地の里山再生 ～荒れ果てた都市部の里山再生～



宮崎県宮崎市

大塚台緑地林里山整備実行委員会 / 宮崎市



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

大塚台地域は、宮崎市の西部、海拔 20～50 m の高台にあり、宮崎市のベッドタウンとして高度経済成長期の昭和 48 年に創設されました。大塚台公園は、その大塚台の中心部・宮崎西小学校の東側にある緑地帯で、竹林、雑木の中に照葉樹も生い茂る

住宅地に囲まれた貴重な森林公園です。6本の散策道を整備したことで、今では地域住民だけでなく、地域以外の方にもウォーキングコースとして利用されています。



大塚台団地全景 中央付近の緑地帯が大塚台公園



大塚台公園 整備後の散策道

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

大塚台公園は、絶滅危惧種のシダ類も生息する貴重な里山でしたが、団地造成後は、風倒木も放置され、不法投棄や青少年非行の温床になるなど荒れ果てていました。一方で、この公園は宮崎市内が一望でき、自然環境の大切さを身近に伝えられる場所でもあることから、「誰でも立ち寄れるみんなの新しい里山に再生し後世に残そう」と、同世代の地域住民で行政や自治会に働きかけ組織を立ち上げました。

自ら整備した6本の散策道を中心に草刈りなどの維持管理をはじめ、行政から提供してもらった材料による手づくりの階段や手すりの設置、桜やブルーベリー、柑橘類の植樹など、子どもから高齢者まで足を踏み入れやすい里山づくりを進めています。

里山は高低差があり作業は重労働ですが、作業後の里山の旬の食材を使った会食会で交流を深めるなど、高齢者が無理をせず楽しく作業に参加できるよう工夫しています。



10周年を記念した桜の植栽



大塚台公園前の施設にて調理・会食



作業後の楽しみ 仲間との会食

## 3 活動の成果や波及効果等

作業で無理をせず楽しむことで、地域住民同士の一体感や健康増進につながっています。また、社会福祉協議会のランチ会に里山採れの食材を提供することで、毎回 200 人程度の高齢者が参加し、閉じこもり防止につながっています。さらに、風倒木で薪や担架用の竹竿を作り災害に備えたり、小学校への竹ぼうきの寄贈やチビっ子竹細工教室など、子どもたちが自然と触れ合える機会を作る事で、地域社会へも貢献しています。



竹細工教室 竹とんぼを作製中



災害時に使用する担架用の竿、炊き出し用の薪

### 喜びの声



#### 受賞者

大塚台緑地林里山整備実行委員会  
委員長 村上 峯雄  
事務局長 西原 利政

#### コメント

活動を始めて 11 年。このたびの受賞、私達の地道な活動を評価していただき感謝申し上げます。いつか 10 周年記念で植樹した満開の桜の下で会員と会食できる日を心待ちにして、今後もシニアパワーを振り絞り、さらに地域住民に愛される里山再生に取り組んでいきます。

#### 活動の内容

- ・清掃、草刈、風倒木の伐採
- ・散策道の維持管理
- ・果樹園の管理、椎茸栽培
- ・竹ぼうき等の作製、寄贈
- ・研修等への参加

#### 活動の経緯

平成 19 年 活動開始 (毎月 1 回活動)  
平成 28 年 宮崎市景観賞受賞  
平成 29 年 10 周年記念誌発行

#### 所在地

宮崎県宮崎市大塚台東 2 丁目 3 番地

#### 活動主体及び連絡先

大塚台緑地林里山整備実行委員会  
(連絡先 大塚台まちづくり推進委員会 0985-47-2010)

#### 対象となる社会資本

大塚台公園  
※管理者：宮崎市



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 川坂湿原を生かした地域おこし ～霞堤とともに歩む～



宮崎県延岡市  
川坂川を守る会／宮崎県



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

川坂川は、一級河川北川の支川です。北川の治水対策は、地形条件や地域住民が川と共に暮らす姿勢を崩すこと無く、川の恩恵を受容できる方策を地元住民とともに検討する中で、河川の増水に対して、堤防に開口部を設けて浸水を受け入れる霞堤を採用し、被害を最小限にする方策がとられています。北

川の霞堤内を流れる川坂川では、河道内外の草刈りが地区の共同作業として古くから行われ、その人為攪乱の効果と北川の氾濫水や豊富な湧水が相まって、河道とその横の湿地には多様な絶滅危惧種が保全され、日本の重要湿地 500、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク(移行地域)などに指定されています。



北川の霞堤(別名:信玄堤)  
平成28年9月台風16号による浸水状況



古くから行われている地区共同作業「草刈りと溝さらえ」

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

霞堤内上流端に位置する川坂湿原については、県内外の研究者からオグラコウホネ、ナガバノウナギツカミ、サデクサなどの絶滅危惧種が数多く生息する希少な湿原として認識されていましたが、地元では特に保護してきたものではなく、集落の共同作業などの日々の営みの中で結果的に守られてきたものでした。徐々に湿原の素晴らしさが分かり、保全意

識が芽生え、平成22年より当該団体の活動が始まりました。主に川坂湿原の草刈り、溝さらえ、外来種駆除などの湿原の保全活動を行うなかで高齢化による労働不足の解消を図るため、2018年に「川坂湿原保全プロジェクト」と銘打って関係機関・団体と連携し、若者や外部の参加者を募り、集落全体を巻き込んで作業を実施しました。



絶滅危惧種 オグラコウホネ



湿原の外来種を駆除



「川坂湿原保全プロジェクト2018」の様子

## 3 活動の成果や波及効果等

湿原環境保全の重要性を伝える湿原ガイドブックの発行、県内外からの個人・団体の訪問者に対してのボランティアガイド、大学から研究者を招いて霞堤の役割や治水のあり方を見直すワークショップ「北川の霞堤と生きる!」の開催など、活動の幅は多岐に及んでいます。また、当該団体の活動から新たに生まれた「川坂よくし隊」が、資源ゴミを回収して販売することにより自主財源を捻出し、街灯のLED化や公民館の空調整備など行政に頼らない地域おこしに取り組むなど、自らの手による地域おこしの先導役を担っています。このような自主的な活動を継続することにより、行政機関や企業からの支援の輪が広がるとともに、地域全体から信頼を得ています。



ワークショップ「北川の霞堤と生きる!」地元住民の約40名が毎回参加して、「霞堤との共生」について学習

### ●● 喜びの声 ●●



#### 受賞者

川坂川を守る会  
会長 安藤 重徳

#### コメント

活動にご協力をいただいた川坂地区の方々、ご支援くださった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。今回の受賞で刺激を受け、会員も決意を新たにしています。子どもの声がこだまする集落を目指し、活動テーマである「自然と人が元気な里地・里山づくり」を今後も続けていきたいと思

#### 活動の内容

川坂湿原の環境保全／ボランティアガイド／HP運営／湿原ガイドブック発行／イベント開催／農家民泊／資源物回収 など

#### 活動の経緯

- 平成22年 川坂川を守る会設立
- 平成24年 有害獣防護フェンス設置
- 平成25年 川坂集落里山林の整備
- 平成26年 60年ぶりに春祈禱復活
- 平成30年 霞堤ワークショップ開催  
湿原保全プロジェクト

#### 所在地

宮崎県延岡市北川町長井川坂

#### 活動主体及び連絡先

川坂川を守る会  
(0982-46-3232)

#### 対象となる社会資本

川坂川  
※管理者：宮崎県



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 旧吉松家住宅を中心とした 大正ロマンのまちづくり ～レトロ路面電車でまちをつなぐ～



宮崎県串間市  
くしままちづくり協議会 / 串間市

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

## 1 社会資本の概要

串間市の中心部（仲町地区）にある「旧吉松家住宅」は、大正ロマンあふれる建造物で国の重要文化財に指定されており、日中は内部を見学することができます。

旧吉松家住宅から徒歩圏内にある串間駅前広場は、



現在の JR 日南線の全線開通に尽力し、  
線路の枕木運送等で財を成して建てられた旧吉松家住宅

宮崎市から鹿児島県をつなぐ国道 220 号と串間市を代表する観光地である都井岬につながる国道 448 号の交差点に面しており、平成 27 年には、くしままちづくり協議会がレトロ路面電車を設置し、観光客、サイクリストが立ち寄るスポットとなっています。



串間駅前広場にサイクルスタンドを常設し、  
休憩所として活用

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

商店街の衰退や人口減少により、中心部の賑わいが失われつつある中、串間市が旧吉松家住宅（国重要文化財）を中心とするまちづくりを計画したところ、行政だけに任せるのではなく、住民が積極的に参加するまちづくりをしていきたいとの思いを持った仲町商店会を中心とした市民有志 10 名で、「大正ロマンのまちづくり」を推進していく「くしままちづくり協議会」を設立しました。

旧吉松家住宅周辺の活性化に向け、平成 27 年に串間駅前広場にレトロ路面電車を自らの手で設置し、日南海岸シーニックバイウェイ推進協議会等と連携したサイクルイベントの開催や、約 300 名の来場者があるミュージックフェスイベントの開催等、年間を通じ多彩なイベントを開催しており、年間約 1,000 人の賑わいを創出しています。



一般市民や企業からの多くの募金により、  
路面電車を自らの手で設置



日南海岸シーニックバイウェイ推進協議会等  
と連携して開催したサイクルイベント



Kushima Music Fes  
多数のバンドが出演

## 3 活動の成果や波及効果等

レトロ路面電車は市の総合案内所として活用し、休日には市民ボランティアがコンシェルジュとして観光案内を行っており、駅前広場・レトロ路面電車・旧吉松家住宅を核としたまちづくりの市民意識が高まっています。また、志布志駅と串間駅で同時開催する「つながるマルシェ」は、県内外の市民との交流のきっかけとなり、県境を越えた地域の活性化につながっています。旧吉松家での高校生まちづくり研修会では、次世代目線でもちづくりを考えており、主催者側が勉強になる場面も多く、将来地元へ帰ってきてくれることが期待できます。



市民コンシェルジュによる  
観光案内



つながるマルシェ（約 250 名）  
くしま「電車マルシェ会場」



旧吉松家住宅での高校生まちづくり研修会

### 喜びの声



#### 受賞者

くしままちづくり協議会  
会長 喜多 祥一

#### コメント

コツコツと積み上げてきた活動が今回認められメンバー一同大変光栄に思っております。流行やトレンドを追いかけず、この町の未来にピタリ合うまちづくりを推進してきたつもりですが、この選択はベストだったのだろうか？と自問自答の日々もありましたが、これからも始めたときの新鮮な気持ちと志を忘れず活動していきたいと思えます。

#### 活動の内容

- ・重要文化財旧吉松家住宅を中心とした広場、まちづくりの提案
- ・路面電車の半分を総合案内所として食・観光等の発信
- ・JR 日南線利用促進の一環として県境を越えたマルシェイベントの開催

#### 活動の経緯

- 平成 25 年 協議会設立、7 月活動開始
- 平成 27 年 広島電鉄より電車購入、設置
- 平成 28 年 電車半分を総合案内所として活用

#### 所在地

宮崎県串間市大字西方 5657

#### 活動主体及び連絡先

くしままちづくり協議会 担当・武田  
(0987-72-0254)

#### 対象となる社会資本

旧吉松家住宅を中心とした仲町地区  
(国道 220 号、国道 448 号、市道泉町牟田ヶ迫線)  
※管理者：国土交通省、宮崎県、串間市



手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

# 年度別テーマ一覧

## 年度別テーマ一覧 (Part1~Part33)

<b>Part1</b> 昭和61年度	人と風土が育てた家並 ふるさとが誇りとする橋 ふれあいの水辺	30選 30選 30選	<b>Part10</b> 平成7年度	コミュニティー部門 自然部門 歴史・文化部門	30選 30選 30選	<b>Part19</b> 平成16年度	地域整備部門 地域活動部門	6選 11選	<b>Part28</b> 平成25年度	一般部門 大賞部門	17選 3選
<b>Part2</b> 昭和62年度	いきいきとした楽しい街並み ふれあいの並木道 水辺の風物詩	30選 30選 30選	<b>Part11</b> 平成8年度	テーマを設定せず	37選	<b>Part20</b> 平成17年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	8選 12選 37選	<b>Part29</b> 平成26年度	一般部門 大賞部門	15選 4選
<b>Part3</b> 昭和63年度	小さなふれあいの広場 ふるさとに恵みを与える川 やすらぎとうおいのある歩道	30選 30選 30選	<b>Part12</b> 平成9年度	テーマを設定せず	40選	<b>Part21</b> 平成18年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	7選 14選 9選	<b>Part30</b> 平成27年度	一般部門 (公開審査による選考) 大賞部門	15選 7選
<b>Part4</b> 平成元年度	いこいとふれあいの道 生活の中にいきる水辺 歴史をいかした街並み	30選 30選 30選	<b>Part13</b> 平成10年度	テーマを設定せず	38選	<b>Part22</b> 平成19年度	地域整備部門 地域活動部門 大賞部門	7選 9選 11選	<b>Part31</b> 平成28年度	一般部門 大賞部門	20選 2選
<b>Part5</b> 平成2年度	街灯のある街角 生活を支える自然の水 花と緑の手づくりふるさと ふるさとの坂道	30選 30選 30選 30選	<b>Part14</b> 平成11年度	テーマを設定せず	32選	<b>Part23</b> 平成20年度	一般部門 大賞部門	13選 2選	<b>Part32</b> 平成29年度	一般部門 大賞部門	16選 3選
<b>Part6</b> 平成3年度	施設部門 素材部門	30選 30選	<b>Part15</b> 平成12年度	テーマを設定せず	30選	<b>Part24</b> 平成21年度	一般部門 大賞部門	17選 2選	<b>Part33</b> 平成30年度	一般部門 大賞部門	20選 3選
<b>Part7</b> 平成4年度	くらしに根づく施設 ふるさとの色と光	30選 30選	<b>Part16</b> 平成13年度	地域整備部門 地域活動部門	20選 9選	<b>Part25</b> 平成22年度	一般部門 大賞部門	22選 3選			
<b>Part8</b> 平成5年度	自然とふれあう水辺づくり 出会いを演出する街角 ふるさとの風景にとけこむ道	30選 30選 30選	<b>Part17</b> 平成14年度	地域整備部門 地域活動部門	15選 11選	<b>Part26</b> 平成23年度	一般部門 大賞部門	12選 4選			
<b>Part9</b> 平成6年度	人々が集い憩う水辺づくり ふるさとの文化を育む街角の広場 ふるさとを紹介する道	30選 30選 30選	<b>Part18</b> 平成15年度	地域整備部門 地域活動部門	13選 10選	<b>Part27</b> 平成24年度	一般部門 大賞部門	16選 2選			

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞  
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編



# 選定案件一覧

## 選定案件一覧

### 昭和61年度

#### 人と風土が育てた家並

都道府県	市区町村	件名	
青森県	黒石市	こみせ	★H17大賞
秋田県	仙北市	武家屋敷	★H17大賞
山形県	上山市	榎下宿	★H17大賞
福島県	喜多町	蔵のまち	
福島県	下郷町	大内宿	★H17大賞
栃木県	栃木市	巴波川沿川家並	★H17大賞
群馬県	甘楽町	小幡城下町の伝統的家並	
新潟県	上越市	高田の榎木	★H17大賞
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り	★H17大賞
富山県	南砺市	信仰と木彫の里八日町通り	
石川県	金沢市	長町武家屋敷群	
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並	★H19大賞
岐阜県	高山市	三之町の家並	
岐阜県	恵那市	旧家の家並	
岐阜県	白川村	合掌集落	
愛知県	名古屋市長	有松	
愛知県	大津市	石積みの町	
滋賀県	東近江市	五箇荘町金堂	★H17大賞
和歌山県	新宮市	別当屋敷町の家並	
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並	★H17大賞
鳥取県	津和野町	藩政時代の街並	★H17大賞
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並	★H17大賞
広島県	竹原市	竹原市伝統的町並	★H24大賞
徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並	★H17大賞
香川県	丸亀市	本島笠島集落家並	
佐賀県	有田町	ドンバイ餅のある裏通り	
長崎県	長崎市	長崎新地中華街	
宮崎県	日向市	美々津の歴史的街並	★H17大賞
鹿児島県	知覧町	武家屋敷通り	
沖縄県	竹富町	竹富町家並	★H17大賞

#### ふるさとが誇りとする橋

都道府県	市区町村	件名	
北海道	上砂川町	野鳥の橋	
北海道	鷹栖町	北野橋	
岩手県	盛岡市	御殿橋	
秋田県	横手市	学校橋	
山形県	上山市	新町めがね橋	
山形県	長井市	撞木橋	
福島県	喜多町	東大橋	
埼玉県	川口市	青木橋	
埼玉県	草加市	辰井川6橋	
東京都	港区	中之橋	
神奈川県	横浜市	夕照橋	
新潟県	新潟市	万代橋	
富山県	射水市	虹の神楽橋	
石川県	金沢市	犀川大橋	
福井県	福井市	新明里橋	
山梨県	大月市	猿橋	
長野県	飯綱町	天の浮橋	
岐阜県	恵那市	大井橋	
静岡県	浜松市	枕瀬橋	
三重県	菟野町	あかね橋	
大阪府	大阪市	錦橋	
徳島県	十津川村	谷瀬橋	
岡山県	岡山市	相生橋	
広島県	広島市	横川橋	
徳島県	三好市	稲谷のかずら橋	
愛媛県	西条市	伊曾の橋	
高知県	安芸市	土居橋	
長崎県	長崎市	長崎中島川石橋群	
熊本県	山都町	通潤橋	
熊本県	津奈木町	あけぼの橋	

#### ふれあいの水辺

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	鴨々川遊び場	
北海道	福島町	新緑公園	
岩手県	一関市	磐井川	
宮城県	栗原市	迫川	

山形県	山形市	馬見ヶ崎川	
茨城県	潮来市	潮来漕艇場	
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道	★H17大賞
群馬県	桐生市	境野水処理センター屋上公園	
千葉県	船橋市	街かど美術館	
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園	★H17大賞
神奈川県	小田原市	小八幡川親水護岸	
富山県	小矢部市	花菖蒲の小矢部河川公園	
岐阜県	岐阜市	早田川	
愛知県	名古屋市長	水の小径	
滋賀県	近江八幡市	八幡堀	★H17大賞
滋賀県	高月町	雨森	★H17大賞
京都府	南丹市	大堰川・寅天堰	
大阪府	岸和田市	古城川緑道	
兵庫県	尼崎市	武庫川六樋水系、ホテルの里づくり	
鳥取県	鳥取市	流しびなの水辺	
岡山県	岡山市	西川緑道公園	★H17大賞
広島県	岡上町	野賀海岸	
広島県	福山市	堂々公園	
山口県	防府市	佐波川蜚の川	
愛媛県	西予市長	野村ダム公園	★H18大賞
高知県	土佐町	早明浦湖ふれあい広場	
福岡県	北九州市	槻田せせらぎ広場	
佐賀県	佐賀市長	多布施川水遊び場	
大分県	竹田市	中島河川プール	
宮崎県	小林市	本庄川河川プール	

### 昭和62年度

#### いきいきとした楽しい街並み

都道府県	市区町村	件名	
青森県	田子町	サンモールたっこ	
宮城県	仙台市長	一番街ショッピングモール	
秋田県	秋田市	秋田駅前買物広場	
山形県	酒田市	酒田市ショッピングモール	
福島県	会津若松市長	大町通り	
茨城県	日立市長	日立銀座ショッピングモール	
茨城県	土浦市長	川口ショッピングモール	
埼玉県	川口市	ショッピングモールふじの市通り	
千葉県	香取市長	小野川周辺の町並	★H17大賞
東京都	中央区	馬喰町商店街	
東京都	足立区	東和銀座商店街	
神奈川県	横浜市長	イセザキモール	
新潟県	十日町市長	雪まつりと流雪溝のまち	
富山県	高岡市長	ふれあいの桃通り	
富山県	南砺市長	合掌家屋と民謡こきりこの里	
山梨県	甲府市長	かがすきモール	
長野県	佐久市長	中込グリーンモール	
岐阜県	岐阜市長	美殿町通り	
岐阜県	可児市長	桜ヶ丘ハイツの街並みと家並み	
京都府	京都市	三条通り歴史的かわいい景観地区	
大阪府	岸和田市長	岸和田駅前通り	
兵庫県	神戸市長	北野町山本通	★H17大賞
和歌山県	高野町	高野町内街路	
岡山県	高梁市長	ふれあい広場と美観地区	
徳島県	徳島市長	紺屋町シンボルロード	
福岡県	福岡市長	大橋駅前通り	
佐賀県	有田町	陶磁の香りのする駅前通り	
大分県	日田市	日田の街並	
宮崎県	日南市	本町商人通りの街並	★H25大賞
沖縄県	沖縄市長	中央パークアベニュー	

#### ふれあいの並木道

都道府県	市区町村	件名	
北海道	釧路市長	出世坂	
岩手県	北上市	展勝地公園	
宮城県	仙台市長	仙台市ケヤキ並木	
山形県	高島町	まほろばの緑道	
茨城県	日立市長	げやき通りと歩道	
栃木県	さくら市長	桜並木緑道	
群馬県	前橋市長	ふるさとのケヤキ並木	
埼玉県	春日部市長	藤どおり	
埼玉県	草加市長	草加松原遊歩道	

東京都	世田谷区	けやき広場	
神奈川県	横浜市	大岡川プロムナード	
神奈川県	川崎市	市役所通りモール	
富山県	富山市	松川ベリ	
石川県	金沢市長	中央公園通り	
岐阜県	中津川市長	四ッ目川の桜並木	
静岡県	恵那市長	岩村城登城坂	
三重県	津市長	二俣川“水辺の桜並木”	
大阪府	大阪市長	みおつくしプロムナード	
兵庫県	神戸市長	税関線シンボルロード	
兵庫県	宝塚市長	花のみち	
奈良県	橿原市長	橿原神宮公苑線の並木道	
岡山県	岡山市	鳥城みち	
広島県	呉市長	美術館通り	
広島県	竹原市長	あいふる316	
山口県	光市長	なざさへの道	
高知県	土佐清水市長	足摺岬の散歩道	
福岡県	北九州市	出あい坂	
長崎県	島原市長	白土湖群緑道	
沖縄県	久米島町	フクギ並木と道路	

#### 水辺の風物詩

都道府県	市区町村	件名	
北海道	旭川市長	せせらぎ小路	
岩手県	盛岡市長	御所湖広域公園	★H18大賞
秋田県	大仙市長	雄物川河川緑地	
栃木県	下野市長	大松山運動公園	
埼玉県	さいたま市長	千貫樋水郷公園	
千葉県	千葉市長	稲毛海浜公園	
新潟県	新潟市長	早川堀のイメージ復元	
富山県	黒部市長	黒部川扇状地の湧水群	
石川県	金沢市長	浅野川～加賀友禅灯ろう流し	
福井県	大野市長	お清水	
長野県	上田市長	長池公園のせせらぎ広場	
静岡県	浜松市長	森の水車	
愛知県	名古屋市長	宮の渡し公園	
愛知県	名古屋市長	庄内用水緑道	
愛知県	愛荘町	新愛知川フラワープロムナード	
大阪府	大阪市長	河川（今川）「せせらぎの復活」	
和歌山県	白浜町	白良浜	
岡山県	湯梨浜町	東郷湖	
島根県	松江市	北松江の宍道湖畔	
広島県	廿日市長	紅葉谷川庭園砂防	★H17大賞
広島県	安芸高田市長	土師ガ「嵐ノ」プラト	★H18大賞
山口県	山口市長	一の坂川ホテル護岸	★H17大賞
山口県	周南市長	東川緑地公園	
香川県	丸亀市長	土器川河川敷広場	
愛媛県	大洲市長	鏡川の端崎	
高知県	高知市長	鏡川みどりの広場	
福岡県	朝倉市長	朝倉の三連水車	
熊本県	宇土市長	湧水源	
大分県	別府市長	壺川の水辺	
鹿児島県	加治木町	網掛川	

### 昭和63年度

#### 小さなふれあい広場

都道府県	市区町村	件名	
岩手県	奥州市	蔵のあるポケットパーク	
宮城県	加美町	さわざくら公園	
山形県	鶴岡市長	やすらぎ広場	
茨城県	古河市長	古河市庁舎広場	
群馬県	館林市長	富士原憩の森	
埼玉県	川口市	辰井公園	
埼玉県	草加市長	おせん茶屋	
埼玉県	さいたま市長	うらわセントラルガーデン	
東京都	港区	パテオ十番おまつり広場	
東京都	荒川区	日暮里南公園噴水広場	
神奈川県	横浜市	金沢埋立地水際緑地	
新潟県	十日町市長	あじさい公園	
長野県	岡谷市長	高架下公園	
岐阜県	岐阜市長	西野町コミュニティ水路	

岐阜県	高山市長	市制50周年記念公園 中橋公園	
滋賀県	甲賀市長	みよで公園	
大阪府	大阪市長	御津公園（タウンスクエア）整備	
兵庫県	神戸市長	摂津本山駅前広場	
鳥取県	鳥取市長	鳥取駅南モニュメント広場	
岡山県	鏡野町	鏡野万葉のみちシンボル広場	
広島県	福山市	春日池公園	
防府市	防府市長	西佐波緑地	
香川県	高松市長	北部コミュニティ広場	
愛媛県	今治市長	片原緑地	
愛媛県	大洲市長	丸山公園	
福岡県	福岡市長	水上公園	
長崎県	長崎市長	丸山公園	
長崎県	島原市長	浜の川共同洗い場	
大分県	中津市長	耶馬溪ダム記念公園	
沖縄県	浦添市長	屋富ポケットパーク	

#### ふるさとに恵みを与える川

都道府県	市区町村	件名	
岩手県	盛岡市長	山岸せせらぎ水路	
岩手県	宮古市長	津軽石川堤防	
岩手県	花巻市長	田瀬湖ふるさと湖畔	
宮城県	加美町	鳴瀬川中新田緑地	
秋田県	横手市長	横手市の流雪溝	
茨城県	大子町	久慈川親水護岸	
東京都	大田区	旧六郷用水の文化遺産保存事業	
神奈川県	横浜市長	和泉川親水広場	
神奈川県	川崎市	ニヶ領用水（宿河原線）	★H17大賞
新潟県	加茂市長	加茂川修築	
富山県	南砺市長	七福の森・向川砂防堰堤	
福井県	若狭町	浦見川	
山梨県	身延町	下部リバーサイドパーク	
山梨県	甲斐市長	信玄堤	★H19大賞
山梨県	南アルプス市	滝沢川公園	
長野県	中川市長	理兵衛堤防	
岐阜県	飛騨市長	瀬戸川	
滋賀県	安土町	鏡の浜	
兵庫県	神戸市長	住吉川清流	
兵庫県	姫路市長	運河公園	
和歌山県	紀の川市長	せせらぎ水路	
岡山県	総社市長	砂川公園	
広島県	広島市長	古川せせらぎ河川公園	
山口県	下関市長	壇貝川	
山口県	萩市長	藍場川	
徳島県	阿南市長	万代堤	
香川県	まんのう町	満濃池	
高知県	四万十市長	渡川第二緑地	
高知県	香美市長	物部川緑地公園	
佐賀県	有田町	自然とのふれあい空間	

#### やすらぎとうるおいのある歩道

都道府県	市区町村	件名	
北海道	旭川市長	七条緑道イルミネーション	
青森県	青森市長	遊歩道緑地・平和公園	
秋田県	秋田市長	山王散歩道	
福島県	福島市長	市道中町御山町線コミュニティ道路	
栃木県	日光市長	くろがね橋歩道	
群馬県	大泉町	いずみ緑道	
埼玉県	八潮市長	松の木どんぐり遊歩道	
千葉県	市川市長	桜並木の散策路	
東京都	港区	ふれあいの道（竹芝棧橋～増上寺）	
東京都	目黒区	尾根緑道	
神奈川県	横浜市	磯子アベニュー	
神奈川県	藤沢市長	引地川（川べり遊歩道）	
神奈川県	相模原市長	横浜市水道道緑道	
石川県	金沢市長	香林坊地下道	
静岡県	沼津市長	蛇松緑道	
愛知県	名古屋市長	中村参道緑道	
三重県	鈴鹿市長	四季の道	
滋賀県	甲賀市長	炎の美通り	
富山県	富中市長	釜舞い飛び自然の親水緑道	
兵庫県	神戸市長	酒蔵の道	
奈良県	奈良市長	奈良三条通り	
鳥取県	鳥取市長	旧袋川通り左岸線彫刻の道	

島根県	松江市	浜乃木ふれあいモール	
広島県	広島市長	藤棚の道	
広島県	呉市長	蔵本通り	
山口県	光市長	水鳥の道	
愛媛県	松山市	遊歩道熱田津の道	
福岡県	北九州市	三萩野やすらぎ通り	
宮崎県	宮崎市長	後田川緑道	★H19大賞
鹿児島県	知覧町	清流溝と池	

#### いこいとふれあいの道

都道府県	市区町村	件名	
北海道	下川町	万里の長城遊歩道	
北海道	洞爺湖町	湖畔通り	★H17大賞
秋田県	秋田市長	中土橋通り	
山形県	尾花沢市長	「歴史の道」	
福島県	福島市長	都市計画道路野田線	
埼玉県	さいたま市長	ショッピングモールさくら草通り	
埼玉県	川口市	海浜プロムナード（鴨川湖さい公園）	
東京都	足立区	北千住サンロード	
東京都	国分寺市長	お鷹の道遊歩道	★H17大賞
新潟県	新潟市長	西海岸公園の散策路	
新潟県	長岡市長	駅東歩行者専用道（長岡シンボルロード）	
石川県	白山市	歴史を刻み今に残すふれあいのみち	
石川県	七尾市長	万葉の里コミュニティ道路	
山梨県	早川町	やすらぎの参道	
岐阜県	中津川市長	中津川遊歩道公園	
岡山県	名古屋市長	ジョギングロード	
京都府	福知山市	三段池公園	
大阪府	堺市長	学園ロード整備事業	
大阪府	高槻市長	阿武野緑道	
兵庫県	姫路市長	城西44号線	
兵庫県	三宮市長	市役所前線	
兵庫県	猪名川町	彫刻の街	
兵庫県	播磨町	緑道であいのみち	
広島県	広島市長	並木通り	★H19大賞
山口県	萩市長	しる魚の道	
愛媛県	今治市長	県木の森ふれあい散策道	
高知県	高知市長	長浜654号線	
佐賀県	有田町	有田文様道	
長崎県	佐世保市長	佐世保1号線プロムナード・ギャラリー	
熊本県	熊本市	長堀通り	

#### 生活の中にいきる水辺

都道府県	市区町村	件名	
茨城県	日立市長	鮎川ロマンチックライン	
群馬県	群芳町	清流神流川	
埼玉県	川口市	芝川、水とみどりの遊歩道	
埼玉県	草加市長	西町緑道水路	
東京都	蕨市長	要害通りせせらぎ遊歩道	
東京都	世田谷区	兵庫県河川公園	
神奈川県	横浜市	三ツ沢せせらぎ緑道	
神奈川県	相模原市長	花と芝生の広場	
神奈川県	秦野市長	水無川緑地	★H17大賞
新潟県	新潟市長	じゅんさい池公園ホテルの里	
新潟県	新発田市長	五十公野公園（アヤマ園）	
富山県	砺波市長	砺波チューリップ公園	
石川県	金沢市長	観月用水	
福井県	敦賀市長	二夜の川	
岐阜県	白川町	やなかわの小径	
岐阜県			

## 生活を支える自然の水

都道府県	市区町村	件名	
北海道	釧路市	しゃも裏の井戸	
北海道	京極町	ふきだし公園	★H17大賞
青森県	田子町	熊原川（みるくの滝）	
秋田県	湯沢市	力水	
秋田県	美郷町	御所清水	
福島県	福島市	耳取川親水公園	
栃木県	鹿沼市	せせらぎ水路	
群馬県	みなかみ町	旧三国街道須川宿塚	★H19大賞
東京都	足立区	防災地緑化	★H17大賞
東京都	日野市	黒川清流公園	★H18大賞
石川県	中能登町	イワシガ池	
山梨県	甲斐市	竜王町信玄堤公園	
山梨県	北杜市	三分一湧水	
岐阜県	下呂市	天王水	
静岡県	富士宮市	芝川水源	
愛知県	若倉市	五条川親水護岸等	
三重県	四日市市	智積養水	
滋賀県	高島市	大清奈曳山道整備事業	
鳥根県	出雲市		
広島県	安芸高田市	いなだ橋遊魚園	
山口県	下関市	深坂自然の森	
徳島県	徳島市	新町川水際公園整備事業	
徳島県	徳島市	名水阿波錦電水	
愛媛県	久万高原町	みみど公園	
高知県	四万十市	渡川（四万十川）	
福岡県	北九州市	黒ヶ畑池	
長崎県	島原市	鯉の泳ぐまち	
熊本県	合志市	東谷川ホタルブロックと寛永堀橋	
大分県	竹田市	芹川河川アール	
沖縄県	糸満市	嘉手志川	

## 花と緑の手づくりふるさと

都道府県	市区町村	件名	
北海道	旭川市	ジャーマンアイリス広場	
北海道	滝川市	空知山緑地コスモス広場	
青森県	十和田市	官庁街通り	
岩手県	盛岡市	木伏緑地と新築地花壇	
秋田県	秋田市	山王大通り	
秋田県	由利本荘市	憩いの町南御門町	
福島県	二本松市	町道橋沢・石橋緑地	
茨城県	取手市	小貝川フラワーベルト事業	
栃木県	足利市	渡良瀬河川公園中橋緑地	
群馬県	高崎市	城址親水公園	
埼玉県	久喜市	清久ふれあい四季の径	
千葉県	香取市	十間川親水緑道	
東京都	北区	荒川赤羽緑地・お花畑	
東京都	江戸川区	葛西親水四季の道	★H27大賞
新潟県	新潟市	信濃川リバーサイド緑地	
富山県	南砺市	国道304号フラワーライン	
石川県	金沢市	浅野川水と緑のふれあい広場	
静岡県	松崎町	花のジョギングコース	
静岡県	浜松市	フラワーロマンロード中部	
静岡県	浜松市	舞阪町流域関連公共下水道水緑景	
兵庫県	神戸市	アジサイの道	
岡山県	岡山市	旭川緑地	
岡山県	倉敷市	倉敷西小学校生け垣	
山口県	周南市	花と緑のまちづくり	
愛媛県	大洲市	富士山公園	
高知県	高知市	春野町アジサイ街道	★H18大賞
福岡県	北九州市	夜宮公園の花菖蒲	
福岡県	久留米市	筑後川くくるめつつじ園	
佐賀県	東与賀町	シチメンソウ・干潟の散歩道	
宮崎県	宮崎市	天ヶ城運動公園のさくら広場	

### ふるさとの坂道

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	宮の森モル―彫刻の道	
岩手県	花巻市	早坂	
秋田県	能代市	きみまち坂	
秋田県	羽後町	七曲峠	
山形県	遊佐町	上萩岡地区（通称W坂）	

福島県	二本松市	市道 竹田～亀谷坂線	
神奈川県	横浜市	水の坂道	
富山県	小矢部市	源平古戦場の坂道	
石川県	金沢市	石伏坂	
山梨県	身延町	句碑の里づくり	
長野県	大田市	塩の道	
長野県	野沢温泉村	大湯坂	
岐阜県	飛騨市	藤波八丁坂景観整備	
岐阜県	高山市	ふる里ふれ愛の径	
静岡県	静岡市	県立美術館への道	
静岡県	富士市	今泉八丁目	
静岡県	河津町	湯坂	
愛知県	常滑市	やきもの散歩道内土管坂	★H19大賞
愛知県	新城市	興道鳳来寺山公園緑	
大阪府	堺市	初霜坂	
大阪府	岸和田市	阿間河滝町の坂道	
島根県	津和野町	殉教の道乙女峠	
岡山県	岡山市	吉備の中山遊歩道	
広島県	尾道市	歴史のただよう坂道	
高知県	橋岡町	維新トンネル	
福岡県	北九州市	彩藤坂	
佐賀県	有田町	陶祖坂	
熊本県	美里町	日本一石段	
大分県	杵築市	勘定場の坂	
宮崎県	都城市	観音池通線	

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	豊平リノゴ並木	
北海道	白老町	町道中央通り	
宮城県	柴田町	柴田町桜の木広場	
福島県	喜多方市	蔵と曲がり家の里	
日立市	日立市	日立新都市広場	
群馬県	高崎市	群馬音楽センター前庭	
埼玉県	鳩ヶ谷市	御成坂公園	
千葉県	御宿町	御宿町「月の沙漠通り」	
東京都	世田谷区	次大夫堀公園	
東京都	足立区	虹の広場	
神奈川県	横浜市	泥亀公園及び金沢区庁外構整備事業	
新潟県	長岡市	長生橋東詰広場	
富山県	高岡市	八丁道	
北摂市	南砺市	利賀そばの郷	
石川県	加賀市	こおろぎ橋	
岐阜県	中津川市	福岡ローマン渓谷遊歩道	
静岡県	静岡市	常磐公園	
静岡県	浜松市	篠原川親水護岸	
三重県	松阪市	御城番通り線	
滋賀県	守山市	たちばな川周辺整備	
京都府	舞鶴市	三安橋（メロディ橋）	
兵庫県	神戸市	六甲アイランドリバーモール(氷路広場)	
広島県	福山市	平家谷・花しょうぶ園	
山口県	山陽小野田市	有帆ホテル川公園	
徳島県	阿波市	国際花と緑の博覧会出展メモリアルパーク	
愛媛県	西条市	西条市公共下水道雨水観音水幹線	

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	豊平リノゴ並木	
北海道	白老町	町道中央通り	
宮城県	柴田町	柴田町桜の木広場	
福島県	喜多方市	蔵と曲がり家の里	
日立市	日立市	日立新都市広場	
群馬県	高崎市	群馬音楽センター前庭	
埼玉県	鳩ヶ谷市	御成坂公園	
千葉県	御宿町	御宿町「月の沙漠通り」	
東京都	世田谷区	次大夫堀公園	
東京都	足立区	虹の広場	
神奈川県	横浜市	泥亀公園及び金沢区庁外構整備事業	
新潟県	長岡市	長生橋東詰広場	
富山県	高岡市	八丁道	
北摂市	南砺市	利賀そばの郷	
石川県	加賀市	こおろぎ橋	
岐阜県	中津川市	福岡ローマン渓谷遊歩道	
静岡県	静岡市	常磐公園	
静岡県	浜松市	篠原川親水護岸	
三重県	松阪市	御城番通り線	
滋賀県	守山市	たちばな川周辺整備	
京都府	舞鶴市	三安橋（メロディ橋）	
兵庫県	神戸市	六甲アイランドリバーモール(氷路広場)	
広島県	福山市	平家谷・花しょうぶ園	
山口県	山陽小野田市	有帆ホテル川公園	
徳島県	阿波市	国際花と緑の博覧会出展メモリアルパーク	
愛媛県	西条市	西条市公共下水道雨水観音水幹線	

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	豊平リノゴ並木	
北海道	白老町	町道中央通り	
宮城県	柴田町	柴田町桜の木広場	
福島県	喜多方市	蔵と曲がり家の里	
日立市	日立市	日立新都市広場	
群馬県	高崎市	群馬音楽センター前庭	
埼玉県	鳩ヶ谷市	御成坂公園	
千葉県	御宿町	御宿町「月の沙漠通り」	
東京都	世田谷区	次大夫堀公園	
東京都	足立区	虹の広場	
神奈川県	横浜市	泥亀公園及び金沢区庁外構整備事業	
新潟県	長岡市	長生橋東詰広場	
富山県	高岡市	八丁道	
北摂市	南砺市	利賀そばの郷	
石川県	加賀市	こおろぎ橋	
岐阜県	中津川市	福岡ローマン渓谷遊歩道	
静岡県	静岡市	常磐公園	
静岡県	浜松市	篠原川親水護岸	
三重県	松阪市	御城番通り線	
滋賀県	守山市	たちばな川周辺整備	
京都府	舞鶴市	三安橋（メロディ橋）	
兵庫県	神戸市	六甲アイランドリバーモール(氷路広場)	
広島県	福山市	平家谷・花しょうぶ園	
山口県	山陽小野田市	有帆ホテル川公園	
徳島県	阿波市	国際花と緑の博覧会出展メモリアルパーク	
愛媛県	西条市	西条市公共下水道雨水観音水幹線	
大分県	杵築市	悠久の時を超え、私の里の橋めぐり	
宮崎県	美郷町	日韓交流のシンボル百済の館	
鹿児島県	菱刈町	菱刈町・湯之尾滝ガラルパ公園	
沖縄県	浦添市	市道3号線	

都道府県	市区町村	件名	
青森県	黒石市	津軽こけし館	
岩手県	遠野市	大工町通り	
宮城県	登米市	玄昌石の館	
秋田県	秋田市	新都市大通線	
福島県	三春町	八島坂	
茨城県	高萩市	高萩市立松岡幼稚園	
茨城県	笠間市	笠間駅前広場	
栃木県	宇都宮市	釜川水辺環境整備事業「ロマンチックドーム」	
群馬県	桐生市	水沼運動公園	

埼玉県	川口市	東川口駅南口駅前広場	
新潟県	長岡市	妙見堰広場	
石川県	金沢市	玉川公園	
長野県	下諏訪町	ジョギングロード	
静岡県	伊豆市	アイデアゴミ収集場	
愛知県	瀬戸市	今村橋	
三重県	桑名市	七里の渡跡	
三重県	伊賀市	伊賀上野橋	
滋賀県	近江八幡市	近江商人通り	
兵庫県	姫路市	姫路文学館	
兵庫県	南あわじ市	歴史資料橋「御原橋」	
鳥根県	大田市	仁摩サウンドミュージアム	
岡山県	岡山市	桃太郎広場（水辺のももくん）	
徳島県	徳島市	徳島市立福島小学校周辺修景工事	
愛媛県	砥部町	磁器片によるモザイク壁画	
福岡県	北九州市	公共サイン（案内標識）	
佐賀県	有田町	唐臼のある水辺	
熊本県	荒尾市	若本橋と河川公園	
沖縄県	小国町	ゆうステーションと周辺整備	
沖縄県	石垣市	白茂登トンネル杭門（玉乗り獅子）	
沖縄県	竹富町	白い道路と町並み	

都道府県	市区町村	件名	
北海道	札幌市	安香川	
北海道	沼田町	ほたるの里	★H18大賞
青森県	大鶴町	平川親水公園	
東京都	北上市	水と緑の和賀川ふれあい広場	
山形県	米沢市	歴史堤公園	
福島県	二本松市	てっせんざぼう公園	
茨城県	土浦市	霞ヶ浦総合公園水辺地区整備事業	
埼玉県	さいたま市	六辻水辺公園	
東京都	調布市	調布市深大寺水車館	
神奈川県	横浜市	横濱公園・野鳥観察園	
神奈川県	大和市	上草柳多目的利用調整池	
石川県	白山市	安川せせらぎふれあい空間整備事業	
岐阜県	岐阜市	清水川コミュニティ水路	
静岡県	伊東市	奥野ダム（松川湖畔）公園施設	
三重県	松阪市	リバーサイド茶倉	
滋賀県	大津市	ふるさと吟遊芭蕉の里	
滋賀県	近江八幡市	吉田川ぬい床止	
滋賀県	野洲市	玉露の里	
京都府	京都市	荒子川	
兵庫県	篠山市	水とみどりのある砂防事業	
滋賀県	近江八幡市	湧水の里	
大阪府	大阪市	水と緑のふれあいスペース	
鳥取県	智頭町	杉の木村公園	
島根県	福岡町	神話と鉄学の道「可部屋大橋」	
雲南市	雲南市	せせらぎ工	
広島県	尾道市	せとだびエンナーレ	★H19大賞
山口県	周南市	石光川親水公園	
愛媛県	松山市	杖の淵公園	
愛媛県	内子町	豊秋橋	
熊本県	山鹿市	鶴田水遊び公園	
宮崎県	延岡市	楽しさを演出するふれあい道路	
宮崎県	南郷町	たいとり河川アール	
鹿児島県	川辺町	岩屋公園平安橋	
沖縄県	宜野湾市	ふんしんせせらぎ通り	

都道府県	市区町村	件名	
北海道	栗山町	レンガ通り歩道	
岩手県	久慈市	山根六郎「桂の広場」	
山形県	金山町	水と親しむふれあい小路	
福島県	いわき市	太古へのタイムスリップ、海竜橋	
茨城県	水戸市	礼がえる備前庭	
埼玉県	草加市	丸根公園・野鳥観察園	
東京都	足立区	クレヨンプロムナード	
東京都	葛飾区	堀切四季のみち	
神奈川県	横浜市	市ヶ尾彫刻のプロムナード整備事業	
富山県	黒部市	宇奈月不動の滝公園	
石川県	輪島市	千枚田ポケットパーク	★H26大賞
山梨県	中央市	郷土の歴史を伝える公園	
岐阜県	郡上市	吉田川ぬい床止	
静岡県	岡部町	玉露の里	
愛知県	名古屋市	荒子川	
三重県	熊野市	水とみどりのある砂防事業	
滋賀県	近江八幡市	湧水の里	
大阪府	大阪市	水と緑のふれあいスペース	
鳥取県	智頭町	杉の木村公園	
島根県	福岡町	神話と鉄学の道「可部屋大橋」	
雲南市	雲南市	せせらぎ工	
広島県	尾道市	せとだびエンナーレ	★H19大賞
山口県	周南市	石光川親水公園	
愛媛県	松山市	杖の淵公園	
愛媛県	内子町	豊秋橋	
熊本県	山鹿市	鶴田水遊び公園	
宮崎県	延岡市	楽しさを演出するふれあい道路	
宮崎県	南郷町	たいとり河川アール	
鹿児島県	川辺町	岩屋公園平安橋	
沖縄県	宜野湾市	ふんしんせせらぎ通り	

### ふるさとの色と光

都道府県	市区町村	件名	
北海道	江別市	野幌グリーンモール噴水	
青森県	弘前市	城西大橋	
青森県	むつ市	来さまい橋通り	
宮城県	涌谷町	湧谷町城山公園と桜	
秋田県	湯上市	天王スカイタワー	
福島県	須賀川市	釈迦堂川いこいの河畔	
栃木県	宇都宮市	都市計画道路「駅東・宿郷通り」	
埼玉県	八潮市	八潮市中央公園野外ステージオブジェ広場	
東京都	足立区	八か村落し親水緑道	
神奈川県	大和市	泉の森緑のかけ橋	
新潟県	新潟市	郷愁とぬくもりのともしび	
富山県	富山市	禅寺橋	
石川県	白山市	公共ゲートサイン柱	
長野県	須坂市	市道桜木町線	

静岡県</
-------

	平成7年度		
<b>コミュニティー部門</b>			
都道府県	市区町村	件名	
北海道	滝川市	ふれあいの郷公園	
青森県	つがる市	かつば広場	
岩手県	洋野町	種子駅前広場	
宮城県	南三陸町	ふれあい公園	
秋田県	由利本荘市	都市計画道路7・7・2世道線	
山形県	山形市	市道七日町片町線コミュニティ道路	
山形県	新庄市	新庄駅前ふれあい広場(愛称アビエス)	
栃木県	栃木市	万町ポケットパーク	
埼玉県	八潮市	} 平成泉橋	
東京都	足立区		
東京都	文京区	音羽パークロード600	
神奈川県	横浜市	大いたち橋・小いたち橋といたち川プロムナード	
		菊の湯ラウンジ	

石川県	加賀市	赤穂南小学校通学道路
長野県	駒ヶ根市	飛騨市
岐阜県	飛騨市	清水山公園
静岡県	岡山市	水道公園「水の丘」
愛知県	名古屋市長久保町	孫太郎オートキャンプ場
三重県	伊賀市	新水口宿（石橋地区）整備
滋賀県	甲賀市	由良川水辺環境整備事業
京都府	南丹市	屋外彫刻ロード
鳥取県	境港市	宮浦公園
広島県	三原市	真綿大橋
山口県	宇布町	正木ダム周辺環境整備事業
徳島県	上勝町	三豊市
香川県	三豊市	西条運動公園
愛媛県	西条市	北九州市
福岡県	久留米市	久留米市
長崎県	長崎市	唐八景公園
宮崎県	延岡市	亀井通線ポケットスペース
鹿児島県	鹿児島市	中央公園

<b>自然部門</b>			
都道府県	市区町村	件名	
北海道	真狩村	真狩川河川公園整備事業	
青森県	鯉ヶ沢町	中村川ふれあい公園	
秋田県	由利本荘市	鳥海町法体園地	
福島県	本宮町	沢田緑道	
茨城県	下妻市	小貝川ふれあい公園	
群馬県	館林市	館林市彫刻の小径	
埼玉県	川口市	川口自然公園	
埼玉県	志木市	いろは親水公園(こもれびのこみち)	
東京都	世田谷区	谷戸川浄化施設	
東京都	江戸川区	篠田堀親水緑道	
神奈川県	横浜市	本牧市民公園トンボ池	
神奈川県	厚木市	厚木市牧野運動公園野草園	
富山県	高岡市	中田いきもの里公園	
富山県	入善町	水の小径	
石川県	能登町	恋路ロマンチックパーク	
山梨県	山梨市	万力公園	
長野県	岡谷市	岡谷湖畔公園「いこいとやすらぎのゾーン」	
静岡県	浜松市	万葉の森公園	
滋賀県	彦根市	服部町ふれあい河川	
滋賀県	近江八幡市	思いやりのある湧上の郷	
京都府	舞鶴市	大波下白屋楼	
京都府	亀岡市	和らぎの道	
大阪府	大阪狭山市	市道天野福田線（あまの街道）	
奈良県	広陵町	下水道水緑景観モデル事業(ウォータースクエアプラン)	
		カヌーの里	
鳥取県	日野町	かみくの桃源郷	
鳥根県	雲南市	呼子港トラフィックミュージメント	
佐賀県	唐津市	日本一のマラソン練習コース	
大分県	竹田市	山之口あじさい公園	
宮崎県	都城市	野鳥の森自然公園	
沖縄県	うるま市		

<b>歴史・文化部門</b>			
都道府県	市区町村	件名	
宮城県	多賀城市	野田の玉川せせらぎ水路	

福島県	二本松市	智恵子の杜公園
栃木県	壬生町	舟町通り
埼玉県	春日部市	竪穴式住居広場（内牧公園）
埼玉県	富士見市	水子貝塚公園
千葉県	市川市	内匠堀プロムナード
東京都	新宿区	若宮公園
東京都	足立区	伊興遺跡公園
神奈川県	横浜市	姥小島と水門
新潟県	関川村	村道御野立・丸山公園線
福井県	越前市	剣豪の道
山梨県	市川三郷町	大門碑林公園
三重県	津市	上津部田城址公園
滋賀県	野洲市	生和の森修景整備事業
滋賀県	湖南市	石部駅前広場整備事業
滋賀県	高月町	芳洲国際通り
京都府	八幡市	やわた放生の景
京都府	福知山市	大江山シンボル整備事業
奈良県	大和郡山市	外堀緑地
和歌山県	新宮市	徐福公園
鳥根県	出雲市	若樺公園
岡山県	真新見市	夢すき公園
広島県	広島市	中央公園(史跡広島城跡二の丸周辺)
徳島県	徳島市	阿波史跡公園整備事業
愛媛県	砥部町	神の森大橋
佐賀県	小城市	史跡土生遺跡整備
佐賀県	唐津市	茶苑「海月」
佐賀県	有田町	古「有田へ誘い」
鹿児島県	鹿児島市	南洲門前通り
沖縄県	嘉手納町	野国総管公園

	平成8年度		
<b>都道府県</b>	<b>市区町村</b>	<b>件名</b>	
北海道	札幌市	手稲あけぼの公園	
北海道	旭川市	井上靖通り	
北海道	若見沢市	利根別川千本桜並木道★H19 大賞	
岩手県	盛岡市	盛岡市新庄浄水場「水と杜の広場」	
岩手県	北上市	詩歌の森公園	
岩手県	滝沢村	滝沢総合公園ロックガーデン	
岩手県	一関市	町営住宅大明神団地	
岩手県	住田町	葉山めがね橋水園	
秋田県	大仙市	町営住宅さくら団地	
山形県	酒田市	せせらぎ	
山形県	金山町	街の中の小さな蔵	
千葉県	千葉総市	ローズマリー公園	
東京都	文京区	播磨坂さくら並木	
東京都	足立区	都市農業公園	
東京都	足立区	関原の森	
東京都	江戸川区	平井駅北口広場・地下駐輪場	
神奈川県	横浜賀市	久里浜緑地コスモス・ポピー広場	
神奈川県	松田町	ミニSL山岳鉄道「お山のポッポ鉄道」	
新潟県	魚沼市	ミツ又砂防公園	
富山県	黒部市	高橋川	
福井県	鯖江市	西山公園	
山梨県	南アルプス市	湧泉亭の里「八田村ふるさと文化伝承館」	
岐阜県	海津市	羽根谷だんだん公園	
愛知県	名古屋市長久保町	台町ふれあい公園	
長浜市	長浜市	北国街道の整備（絵になる道づくり）	
近江八幡市	近江八幡市	かわらミュージアム	
野洲市	野洲市	行合ふれあい広場修景整備事業	
米子市	米子市	米子山公園	
津和野町	津和野町	鯉溜り	
藍住町	藍住町	正法寺川公園（みどり橋）	
高松市	高松市	牟礼町石匠の里公園	
北九州市	北九州市	山田緑地	
久留米市	久留米市	酒蔵とせせらぎ公園	
伊万里市	伊万里市	秘窯の里	
嘉島町	嘉島町	矢形川湧水天然プール	
日向市	日向市	牧水公園	
糸満市	糸満市	西崎親水公園	

	平成9年度		
<b>都道府県</b>	<b>市区町村</b>	<b>件名</b>	
北海道	伊達市	まれふふれあい公園	
岩手県	遠野市	遠野浄化センター	
岩手県	宮古市	リバーパークにいさと	
岩手県	洋野町	大野村産業デザインセンター★H19 大賞	
秋田県	八郎潟町	せせらぎのある公園	
山形県	小国町	白い森オートキャンプ場	
埼玉県	蕨市	中山道ふれあい広場	
埼玉県	神川町	金鑽清流公園	
東京都	品川区	大森貝塚遺跡庭園	
東京都	世田谷区	ふれあいの水辺（北沢川緑道）	
東京都	江戸川区	左近川親水緑道	
神奈川県	横浜市	舞岡公園	
神奈川県	横浜市	和泉川「東山の水辺」	
富山県	朝日町	ハーバルパレオおがわ	
富山県	南砺市	瞑想の郷	
石川県	白山市	獅子吼山麓の苑	
福井県	勝山市	桜づつみ整備事業	
福井県	大野市	歴史の丘	
岐阜県	関市	津井谷ふるさと砂防公園	
静岡県	静岡市	駿府城二之丸東御門	
愛知県	設楽町	つぐ高原グリーンパーク	
三重県	津市	マリナー河芸	
京都府	亀岡市	水鳥のみち	
大阪府	柏原市	アクロードかしわら	
兵庫県	養父市	福定親水公園	
鳥取県	境港市	水木しげるロード	★H21 大賞
鳥取県	日野町	黒坂カワフふれあい公園	
鳥根県	奥出雲町	せせらぎの里 砂田川	
岡山県	高梁市	風の舞台「石の風ぐるま」	
広島県	三原市	又はた川自然公園	
高知県	高知市	追手前公園地下駐輪場	
高知県	四万十町	木の香る道づくり	
福岡県	大川市	メロディロード	
佐賀県	東与賀町	干潟ギャラリー	
長崎県	長崎市	長崎公園	
長崎県	波佐見町	やきもの公園	
熊本県	八代市	砥崎の河原	
熊本県	長洲町	甕した新塘水路	
宮崎県	美郷町	西二の急滝	
沖縄県	伊弉名村	尚円王御坐公園	

	平成10年度		
<b>都道府県</b>	<b>市区町村</b>	<b>件名</b>	
北海道	札幌市	ポプラ通中央緑地	
北海道	芦別市	旭ヶ丘公園	
青森県	弘前市	プレアデス（昴）のまちづくり	
岩手県	花巻市	南部杜氏の里	
秋田県	由利本荘市	陸の灯台“黄桜の里”	
群馬県	伊勢崎市	子供のもり公園伊勢崎	
埼玉県	飯能市	あけぼの子ども森公園	
埼玉県	深谷市	中宿歴史公園・道の駅おかく	
東京都	足立区	大門自然プチテラス	
東京都	葛飾区	黄さんと矢切の渡しの「柴又公園」	
東京都	江戸川区	平井駅通りふれあい道路	
神奈川県	横浜市	入江川せせらぎ緑道	
神奈川県	横浜市	いたち川・稲荷森の水辺	
新潟県	新潟市	白山公園「燕喜館」	
石川県	加賀市	大聖寺川ふるさとの川	
福井県	大野市	元町会館（七間通り）	
山梨県	身延町	身延駅通りふれあい通り	
愛知県	田原市	旭町はなとき通り	
三重県	四日市市	水と緑のせせらぎ広場	
滋賀県	近江八幡市	上の湧水の里	
京都府	亀岡市	祭にであう道づくり	
大阪府	吹田市	水と緑のプロムナード	
兵庫県	姫路市	手柄山中央公園	
兵庫県	芦屋市	仲ノ池緑地	
兵庫県	香美町	但馬高原植物園－澗川平－	
和歌山県	田辺市	ミュージックパーク・たなべ	

	平成11年度		
<b>都道府県</b>	<b>市区町村</b>	<b>件名</b>	
北海道	上川町	上川・層雲峡園プラン65再整備計画	
岩手県	磐石町	磐石銀河ステーション・ボランの広場	
宮城県	仙台市	仙台市彫刻のあるまちづくり	
秋田県	にかほ市	道の駅「象潟」ねむの丘	
山形県	鶴岡市	ふるさとの水辺…内川	
東京都	葛飾区	身近な水辺再生事業「四つ木めだかの小道」	
東京都	江戸川区	宿川親水緑道	
神奈川県	横浜市	江川せせらぎ	
新潟県	村上市	まいつる公園	
長野県	長野市	善光寺表参道大門町	
岐阜県	岐阜市	玉宮通りまちづくり	
愛知県	名古屋市	相生山緑地「オアシスの森」	
滋賀県	守山市	自然にふれあう散歩道	
滋賀県	野洲市	中山道・外和木の標	
滋賀県	高月町	冷水寺胎内仏資料館	
高島市	高島市	冷下町活性化施設「びれっじ」	
京都府	南丹市	スプリングスひよし	
大阪府	羽曳野市	であいのみち	
奈良県	大磯町	竹取公園	
鳥取県	米子市	弓ヶ浜公園 みんなの遊具広場	
岡山県	岡山市	オランダ東通り	
岡山県	笠岡市	小田原町せせらぎの道	
広島県	広島市	天神川プロムナード	
山口県	防府市	防府市地域交流センター「アスビラート」	
香川県	高松市	太田第2シンボル地区レインボーロード	
愛媛県	松野町	虹の森公園	
高知県	四万十町	道の駅「四万十大正」	
福岡県	北九州市	畑野水地周回自転車歩行者道路	
長崎県	東彼杵町	河川公園 やすらぎの里	
熊本県	山都町	ふれあい公園杜のいづみ	
熊本県	天草市	倉岳町えびすビーチ	
沖縄県	宮古島市	伊良部町カントリーパーク	

	平成12年度		
<b>都道府県</b>	<b>市区町村</b>	<b>件名</b>	
北海道	滝川市	たきかわスカイパーク★H27 大賞	
岩手県	盛岡市	仙北西地区自転車歩行者道ネットワーク みちくさ通り 外5路線の駅おがち「小町の郷」	
秋田県	湯沢市	せせらぎこみち	
福島県	郡山市	前沢曲家集落	
群馬県	高崎市	ハーブの泉	
千葉県	館山市	館山駅オレンジロード、西口なぎさ広場、夕映え通り	
		蒲田駅東口（区役所前本通り）	
東京都	大田区	} 古隅田川緑道	
東京都	豊島区		
東京都	葛飾区	水と緑と歴史のフィールドミュージアム「曳舟川親水公園」	
神奈川県	川崎市	加瀬ふれあいの広場（緊急避難場所）	
新潟県	十日町市	神明水辺公園	
南砺市	南砺市	桜並木の城端神明通り	
石川県	加賀市	北前船の里づくり「橋立町」	
福井県	若狭町	若狭騎街道 熊川宿	★H23 大賞
長野県	飯田市	りんご並木	★H20 大賞

鳥根県	雲南市	清流と親しむやさしい水辺
岡山県	岡山市	池の内大池湖畔公園
岡山県	倉敷市	アンデルセン広場
岡山県	津山市	ごんご通り
広島県	呉市	狩留賀海浜公園
徳島県	徳島市	しんまちボードウォーク
愛媛県	大洲市	ふるさと公園
福岡県	北九州市	洲浜ひろば
山口県	長崎市	長崎歴史探訪路
熊本県	玉名市	秋丸目鏡橋
大分県	豊後高田市	湯前公園
沖縄県	北谷町	北谷町宮栄口住宅

	平成13年度		
<b>都道府県</b>	<b>市区町村</b>	<b>件名</b>	
北海道	上川町	上川・層雲峡園プラン65再整備計画	
岩手県	磐石町	磐石銀河ステーション・ボランの広場	
宮城県	仙台市	仙台市彫刻のあるまちづくり	
秋田県	にかほ市	道の駅「象潟」ねむの丘	
山形県	鶴岡市	ふるさとの水辺…内川	
東京都	葛飾区	身近な水辺再生事業「四つ木めだかの小道」	
東京都	江戸川区	宿川親水緑道	
神奈川県	横浜市	江川せせらぎ	
新潟県	村上市	まいつる公園	
長野県	長野市	善光寺表参道大門町	
岐阜県	岐阜市	玉宮通りまちづくり	
愛知県	名古屋市	相生山緑地「オアシスの森」	
滋賀県	守山市	自然にふれあう散歩道	
滋賀県	野洲市	中山道・外和木の標	
滋賀県	高月町	冷水寺胎内仏資料館	
高島市	高島市	冷下町活性化施設「びれっじ」	
京都府	南丹市	スプリングスひよし	
大阪府	羽曳野市	であいのみち	
奈良県	大磯町	竹取公園	
鳥取県	米子市	弓ヶ浜公園 みんなの遊具広場	
岡山県	岡山市	オランダ東通り	
岡山県	笠岡市	小田原町せせらぎの道	
広島県	広島市	天神川プロムナード	
山口県	防府市	防府市地域交流センター「アスビラート」	
香川県	高松市	太田第2シンボル地区レインボーロード	
愛媛県	松野町	虹の森公園	
高知県	四万十町	道の駅「四万十大正」	
福岡県	北九州市	畑野水地周回自転車歩行者道路	
長崎県	東彼杵町	河川公園 やすらぎの里	
熊本県	山都町	ふれあい公園杜のいづみ	
熊本県	天草市	倉岳町えびすビーチ	
沖縄県	宮古島市	伊良部町カントリーパーク	

岡山県	岡山市	表町おかみさん会による中心市街地活性化の取り組み
山口県	下関市	「海峡花通り」下関花いっぱい計画
愛媛県	大洲市	やすらぎの水辺づくり
福岡県	北九州市	市民参加の川づくり「柳川ルネッサンス計画」

平成 17 年度

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市	旭川市旭山動物園
山形県	上市市	武家屋敷通り整備事業
東京都	江戸川区	一之江ひだまり公園
静岡県	三島市	三島市街中がせらせら事業 ★H23 大賞
愛知県	岡崎市	新しい公園づくりのカタチ「なのはな公園」
山口県	宇部市	中央町三丁目地区まちなか再生事業
山口県	萩市	萩博物館
大分県	日田市	親水施設 台霧の瀬

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	ニセコ町	ニセコ花フェスタ綺羅街道
福島県	南会津町	花の御宿の里づくり
茨城県	日立市	住民発案による公園の管理と希少淡水魚「イトヨ」の保護 美しい水辺の回復づくり
千葉県	長生村	住民総出の花づくり
岐阜県	中津川市	[やすらぎの心が通う四季のまち] づくり活動
愛知県	新城市	1級河川豊屋川の再生と市民活動・まちづくり
大阪府	豊屋川市	地域通貨「Fシノ」を活用した流域連携づくり
山口県	山口市	川を活かした魅力的なまちづくりを目指して ★H25 大賞
徳島県	徳島市	阿南光のまちづくり事業
徳島県	阿南市	阿南光のまちづくり事業
福岡県	福岡市	博多湾にみんなで夢の松原を！ ★H27 大賞
熊本県	西原村	道路清掃による村づくり

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	洞爺湖町	湖畔通り
北海道	京極町	ひきだし公園
青森県	黒石市	こみせ
秋田県	仙北市	武家屋敷
山形県	上市市	榎下宿
福島県	下郷町	大内宿
栃木県	栃木市	巴波川沿川家並
栃木県	足利市	足利学校・ばんな寺参道のまちなみ修景
群馬県	前橋市	広瀬川河畔緑地緑道
千葉県	香取市	小野川周辺の町並
東京都	足立区	防災緑地緑化
東京都	江戸川区	小松川境川親水公園
東京都	府中市	府中市郷土の森
東京都	国分寺市	お鷹の道遊歩道
神奈川県	横浜市	ライトアップ・ヨコハマ
神奈川県	川崎市	ニヶ領用水（宿河原線）
神奈川県	秦野市	水無川緑地
長野県	塩尻市	奈良井宿の家並み
新潟県	上越市	高田の雁木
富山県	高岡市	銅器のまち金屋町通り
愛知県	豊田市	塩の道・三州足助の町並み
三重県	亀山市	東海道関宿の町並み
滋賀県	長浜市	ながはま御坊表参道
滋賀県	近江八幡市	八幡堀
滋賀県	東近江市	五箇荘町金堂
滋賀県	高岡町	雨森
兵庫県	神戸市	北野町山本通
鳥取県	倉吉市	土蔵造りの家並
鳥根県	津和野町	藩政時代の街並
岡山県	岡山市	西川緑道公園
岡山県	倉敷市	倉敷市の伝統的街並
広島県	廿日市市	宮島紅葉谷川庭園砂防
山口県	山口市	一の坂川ホテル護岸

徳島県	美馬市	うだつと白壁の町並
大分県	竹田市	殿町武家屋敷通り
宮崎県	日向市	美々津の歴史的街並
沖縄県	竹富町	竹富町家並

平成 18 年度

都道府県	市区町村	件名
秋田県	小坂町	明治百年通り
茨城県	日立市	市民・行政協働の手づくりピオトーブ 赤羽緑地 ★H24 大賞
岐阜県	岐阜市	長良川右岸河畔道路
静岡県	浜松市	よみがえり！みんなの豊田川
三重県	多気町	高校生のレストラン「まごの店」 ★H26 大賞
京都府	舞鶴市	海舞鶴線遊歩道整備
香川県	多度津町	多度津町再生水利用計画事業

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	函館市	市民創作「函館野外劇」
北海道	稚内市	Wakkanai みなとコンサート
埼玉県	新座市	木もれ日がさす美しい榎木林を目指して
東京都	港区	お台場の自然環境を活かした環境教育活動
神奈川県	川崎市	多摩川エコミュージアムプランの推進 ★H29 大賞
長野県	長野市	松代文化財ボランティアの会の活動
静岡県	静岡市	清水港・みなと色彩計画★H27 大賞
愛知県	名古屋市長	都会の中の里山環境再生と市民活動
大阪府	大阪市	南港生きもの育て隊アオサ取り★H22 大賞
鳥取県	鳥取市	鹿野祭りの似合う街づくり★H22 大賞
徳島県	吉野川市長	美郷の「宝」を継承！
徳島県	東みよし町	ぶぶるパークみかもサア〜！やらんで町おこし
長崎県	五島市長	島民手づくり展舞台
大分県	大分市長	“かんたん”みなとまちづくり★H29 大賞

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	沼田町	ほたるの里
岩手県	盛岡市長	御所湖広域公園
東京都	日野市長	黒川清流公園
鳥根県	大田市長	石見銀山御料・大森の町並み
広島県	安芸高田市長	土師ダムスポーツランド
山口県	白壁の町並み	
愛媛県	柳井市長	白壁の町並み
愛媛県	内子町	木輿と白壁の町並み
愛媛県	西予市長	野村ダム公園
高知県	高知市長	春野町アジサイ街道

平成 19 年度

都道府県	市区町村	件名
福島県	桑折町	奥州街道・羽州街道逸分
東京都	稲城市	上谷戸親水公園
東京都	町田市	町田市公共下水道本町田2号雨水幹線
兵庫県	養父市長	道の駅ようか但馬蔵
鳥根県	津和野町	本町・祇園丁通石畳通り
愛媛県	松山市	松山ロープウェー街
福岡県	太宰府市長	国博通り

地域活動部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	室蘭市長	文化も発信できる港まちづくり
茨城県	行方市長	霞ヶ浦湖岸保全および環境美化活動 黒罎プロジェクト ★H25 大賞
新潟県	村上市長	大道芸ワールドカップ in 静岡
静岡県	静岡市長	アカタン砂防歴史遺産利活用
福井県	南越前町	ひつじのいる河川敷が生み出す地域コミュニティ
大阪府	和泉市長	

兵庫県	赤穂市長	あこう絵マップコンクール
兵庫県	篠山市	丹波ゆかりの赤米栽培を通じた公園づくり
福岡県	北九州市	門司港レトロ地区の観光振興・地域活性化 ★H28 大賞

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	岩見沢市長	利根別川千本桜並木道
盛岡市長	材木町コミュニティ道路	
岩手県	洋野町	大野村産業デザインセンター
群馬県	みなかみ町	旧三国街道須川宿理
山梨県	甲斐市長	信玄堤
長野県	南木曾町	妻籠宿の家並
愛知県	常滑市長	やきもの散歩道内土管坂
広島県	広島市長	並木通り
広島県	尾道市長	島ごと美術館
愛媛県	西条市長	アクアトピア（西条市公共下水道雨水観音水幹線）
宮崎県	宮崎市長	後田川緑道

平成 20 年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	足寄町	あなたの足跡残します
宮城県	東松島市長	「野蒜築港跡」を活用した地域活動
東京都	世田谷区	地域で創る、花いっぱい、トンボの飛び交う 憩いの公園
東京都	武蔵野市長	都立井の頭恩賜公園
三鷹市長	（開園 100 周年に向けての取組み）	
上田市	別所温泉大湯地区ふれあいロード	
浜松市長	流域のみんなで洪水防止年間川水辺再生まちづくり	
愛知県	名古屋市長	なごや東山の森づくり
兵庫県	神戸市長	湊川隧道保存友の会
兵庫県	神戸市長	獅子ヶ池周辺里山整備・保全事業
兵庫県	宝塚市長	中山台コミュニティ美しい自然のなかでの暮らし
愛知県	名古屋市長	可部駅西口広場の整備をきっかけとしたまちづくり
愛媛県	愛南町	トレッキング・サ・空海あいなん
福岡県	北九州市	板櫃川水辺の乗校

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
新潟県	長岡市長	表町の小さな試み
長野県	飯田市長	りんご並木

平成 21 年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市長	世代と世代をつなぐ架け橋「旭橋」
北海道	紋別市長	国登録有形文化財旧上栗別駅通所 歴史といで湯の「いいざか温泉」 まちづくり活動
東京都	調布市長	22 世紀の都市の森づくり
新潟県	長岡市長	山古志「花々とともに進む心の復興」
新潟県	長岡市長	小さなムラにある大きな希望
富山県	富山市長	回船問屋群のある街並み富山市岩瀬のまちづくり
長野県	飯山市	菜の花による地域活性化（菜の花公園周辺）
長野県	阿南町	祭り街道と自然保護
静岡県	浜松市長	希少種の保全と里山の復元を通じて自然と人間の共生を目指す
滋賀県	高島市長	未来へつなぐ清水と緑の郷づくり
奈良県	生駒市長	人によさしい良好な住環境の創生に向けて
広島県	尾道市長	尾道みなとまちづくり
徳島県	小松島市長	みなとオアシス交流広場
香川県	高松市長	むれ源平石あかりロード
福岡県	大野城市	どんぼの森公園
大分県	日田市長	「水郷ひた」観光に寄与した花月川の川づくり（千年あかり） ★H27 大賞

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
茨城県	下妻市長	花と1万人の会「ちよっと素敵なまちづくり」
鳥取県	境港市長	水木しげるロード

平成 22 年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	北広島市長	支えあいの地域づくり
北海道	木古内町	威風丸の眠るサラキ峠の交流観光拠点づくり
宮城県	仙台市長	将監沼の自然とふれあいを育む
東京都	町田市	大戸源流で森づくり（都民協働で公園予定地を活性化！）
神奈川県	平塚市長	馬入・光と風の花づつみ
長野県	上田市長	北園街道柳町街並みを生かしたまちづくり
新潟県	十日町市長	大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ ★H27 大賞
新潟県	津南町他	越後高田町家三昧（高田の町家を活かしたまちづくり）
新潟県	上越市長	菅根木観光ボランティア部（地元の良いさを中学生が伝える活動）
新潟県	佐渡市長	空芯菜の水耕栽培を利用した地域活性化に向けた取組
岐阜県	恵那市長	歴史ある門前町谷汲の再生を目指して
愛知県	西尾市長	住民みんなで作った公園「つるしろふれんどばーく」
三重県	伊勢市長	伊勢河崎のまちづくり町並みと川を生かしたまちづくり★H30 大賞
京都府	宮津市長	大手川河川改修事業に伴う魅力的な市街地の再生
大阪府	吹田市長	歴史的古民家の再生及び地域活動拠点としての利活用
大阪府	柏原市長	桜の龍田古道の復活
奈良県	高取町	高取土佐街道町家の甍めぐり
鳥根県	松江市	宍道湖夕日スポット
愛媛県	新居浜市長	道から始める「新しい公共」のまちづくり
佐賀県	白石町	40 年ぶりに復活した鎌ノ池湧水の保全と地域づくり
熊本県	天草市長	ホテルの里づくり（ホテルの里できらめく☆城河原☆）
沖縄県	本部町	備瀬のフクギ並木

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
愛知県	犬山市	犬山城下町地区のまちづくり
大阪府	大阪市長	南港生きもの育て隊アオサ取り
鳥取県	鳥取市長	鹿野祭りの似合う街づくり

平成 23 年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	えりも町	えりもの地域資源の掘りおこしと活用 ～猿留山道を中心に～
栃木県	那須町	災害復旧後の河川敷及び堤防を利用した地域活性化事業
東京都	江戸川区	野の川の再生「清流よ永遠なれ」
神奈川県	横浜市	流域学習・流域防災拠点を目指す 鶴見川駒岡河川敷
新潟県	三条市長	三条市民と大学の協働による小さな里山づくり
新潟県	南魚沼市長	三国街道塩沢宿 牧之通り（雪国の歴史と文化のまちづくり）
岐阜県	御嵩町	中山道「御嶽宿」景観修景プロジェクト ～賑わいと誇りの持てるまちづくりをめざして～
愛知県	春日井市長	市民が創る緑の街道愛岐トンネル群 ～麻線トンネル再生～
山口県	岩国市長	蘇った歴史の道岩国往来★H30 大賞
愛媛県	西条市長	「水」と「芸術文化」でまちづくりと人づくり

大分県	中津市長	山国川発中津干潟 水でつなげる自然と文化と私たち
宮崎県	日南市長	堀川運河の歴史と伝統を活かしたまちづくり

平成 24 年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	上士幌町	旧国鉄土幌線の文化遺産を活用したまちづくり
秋田県	大館市長	釈迦内上中通り「親水公園」（泥沼再生）
千葉県	柏市長	「市民で育てる 100 年の森」- こんぶくる池公園
東京都	江戸川区	地域で育てよう桜の文化 ～日本一の桜名所づくり～
長野県	安曇野市長	三角島ふるさとの森プロジェクト ～水と緑の市民の森をめざして～
岐阜県	各務原市長	中山道鞠沼宿 ～人と人とのつながりをめざして～
静岡県	御前崎市長	地域資源の再利用で環境美化
愛知県	清須市長	庄内川の水辺環境を活かした官民協働のまちづくり
三重県	名張市長	季節を彩るおもてなしを ～名張市旧細川邸「やなせ宿」の取組～
徳島県	徳島市長	万代中央ふ頭（水辺のコミュニティスペース） ★H29 大賞
香川県	東かがわ市長	讃州井筒屋敷を拠点とした歴史ある引田まち並み
高知県	梶原町	匠が巧みに未来を拓く ～住民主導のまちづくり～
長崎県	島原市長	噴火災害からの復興「安中・夢計画」
宮崎県	都城市	森づくりから風土づくりへ大淀川流域住民プロジェクト
鹿児島県	姶良市長	豊かな風土を後世へ（錦江湾富重干潟）
沖縄県	沖縄市長	災害を乗り越え、地域コミュニティ活動の拠点となった歴史と伝統の越来水辺公園

大賞部門

都道府県	市区町村	件名
茨城県	日立市長	人と自然が共存したピオトーブ赤羽緑地
広島県	竹原市長	歴史と文化が薫る町並み

平成 25 年度

一般部門

都道府県	市区町村	件名
北海道	旭川市長	美瑛川ささと川づくり～未来を担う子供達に誇れる「ふるさと」をつくらう～
山形県	鶴岡市長	商店街「みち広場」の整備と運営による賑わいづくり～デイパザール、ナイトパザール、夢やたい「足尾の山に 100 万本の木を植えよう！」官民連携による緑化活動
栃木県	日光市長	遺そう我々の郷土を！伝えよう 100 年後の子ども達へ！
新潟県	長岡市長	「越後みしま竹あかり街道」
長野県	駒ヶ根市長	天竜川を次世代に引き継ぐ「天竜川ゆめ会議」
三重県	伊勢市長	舟参宮の再興いにしえの川の川みなとに賑わいをつくる
和歌山県	和歌山市	「水軒貯場の再生」と「市民の公園の実現」
奈良県	五條市長	四百年の歴史に磨かれた町なみ
奈良県	大和郡山市	古道「七曲道」の整備
鳥根県	出雲市長	甕った出雲大社の門前町～神門通り～

島根県	江津市長	石州赤瓦と歴史を活かしたまちづくり
愛媛県	松山市	復活松原泉 ～住民の熱い思いで松原泉・小川を再生～
大分県	中津市長	耶馬溪の自然と景観を守る
鹿児島県	さつま町	大水害からの復興（地域の願いを込めて）
鹿児島県	さつま町	光に満ちたまちづくり（ホテルとともに）
沖縄県	中城町	古道ハンタ道（歴史の道）と世界遺産。郷土を愛し地域をおこすサークル活動

平成 26 年度

一般部門

茨城県	筑西市	鬼怒川の荒れた河川敷をお花畑に！交流の場に！～お花畑から広がるつながりの輪～
東京都	小平市	花と緑と笑顔にあふれる街づくり～こいだいらグリーンロード～
石川県	七尾市	和倉温泉まちなか賑わい再生と景観づくり
岐阜県	郡上市	清流長良川漁場の再生への取り組み
滋賀県	東近江市	東近江市尻無町「水源の森」～いにしへの「長谷掘り抜き」を後世に…～商店街から発信する住民主体のシティアプローチモデル
京都府	長岡京市	桜が教えてくれたカタクリで地域づくり
福井県	大野市	鳴り石の浜を舞台にしたまちの活性化プロジェクト
鳥取県	琴浦町	協働による花と歴史と安らぎの郷づくり
山口県	下関市	酒蔵とともに歩むまちづくり
佐賀県	鹿島市	道路美化活動から始まった地域おこし
長崎県	西海市	～廃校グラウンドが環境農園に生まれ変わった！～

**大賞部門**

都道府県	市区町村	件名
北海道	滝川市	“空の波打ち際”の創造～大空に一番近いまちづくり～
東京都	江戸川区	葛西親水四季の道
新潟県	十日町市	大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ
静岡県	静岡市	清水港・みなと色彩計画
京都府	向日市	竹の径・かぐやのタペ
福岡県	福岡市	エコシティ福岡をめざして「水と緑とまちづくり」
大分県	日田市	市民の手づくりによる賑わいの創出～水郷ひた豆田地区（千年あかり）～

**平成 28 年度**

**一般部門**

都道府県	市区町村	件名
北海道	登別市	奇跡の湿原を次世代へ～キウシト湿原の保全と活用～
岩手県	陸前高田市	桜ライン311～未来へのまちづくり～
山形県	新庄市	新庄市エコロジーガーデン～先人が築いた歴史を次の世代へ～
茨城県	鹿嶋市	「鹿嶋神の道」づくり
茨城県	神栖市	不法投棄されていた土地を地元の手で憩いの場に！夢のひろばづくり
栃木県	足利市	足利の魅力再発見！～高校生のロケツアーリズム～
栃木県	日光市	日本の近代化を支えた足尾の産業遺産等を活用した地域おこし
埼玉県	鴻巣市	人もコウノトリも棲めるふるさと鴻巣づくり～つたえよう豊かな自然環境を未来の子どもたちへ！～
神奈川県	横浜市	地域でつくるエキコンの賑わいとキレイなまち鴨居
新潟県	関川村	羽越水書の教訓を伝える「えちごせきかわだしたもん蛇まつり」
三重県	多気町	人々の生活とつながりを育む河川～佐奈川を美しくする会の取り組み～
京都府	南丹市	せつぶん草で集落の「誇りと絆」づくり
大阪府	大阪市	密集市街地の小さな広場を活用した地域防災力向上に向けた挑戦。
広島県	広島市	身近な自然に気づき、川と始める川から始まるまちづくり～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～
徳島県	美馬市	カヤックで目指す四国のまほろば～吉野川河畔ふれあい広場～
愛媛県	松山市	We Love 石手川 河川大清掃～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～
高知県	四万十市	流域住民主体で四万十川の環境保全と地域活性化の活動
福岡県	朝倉市	郷土の宝・財産「山田堰・堀川用水・水車群」を地域で守ろう

宮崎県	延岡市	ふるさとへの熱い思いが奇跡の堤防を産んだ
沖縄県	那覇市	国場川こいのぼりまつり～少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを…そんな街に住みたい！～

**大賞部門**

都道府県	市区町村	件名
茨城県	日立市	助川山市民の森 ドングリの森づくり
福岡県	北九州市	歴史と海峡を活かしたまちづくり～門司港レトロ～

**平成 29 年度**

**一般部門**

都道府県	市区町村	件名
北海道	稚内市	古き良きものを守る～国境の街 稚内の歴史的建造物の保存とまちづくり～
岩手県	一関市	「尊寺村荘園遺跡」等の保全と地域の活性化を目指す活動
宮城県	石巻市	石巻南浜津波復興祈念公園における市民の伝承活動
茨城県	古河市	渡良瀬遊水地の未来に向けて
栃木県	栃木市	
山形県	小山市	
野田町	野田町	
群馬県	板倉町	100年の景観づくり「枝垂れ桜の咲く里への回り道」
埼玉県	加須市	
新潟県	糸魚川市	
静岡県	静岡市	うしづま水辺の楽校 子供達のたくさんの笑顔、オクシズの魅力アップを目指すかのがわ風のテラス
静岡県	沼津市	須磨ニュータウン周辺の森を整備し、癒しの森（場）づくり
兵庫県	神戸市	
兵庫県	赤穂市	坂越浦の礎を築いた北前船廻船物語 住民自治で創る川西のまちづくり～1200人を支え、100人が働き、170人が関わり、30万人が訪れる郷へ～
広島県	三次市	
愛媛県	松山市	重信川河口域の湿地環境保全～高校生の取り組み～
福岡県	松前町	
福岡県	田川市	水辺空間を活かしたまちづくり～番田河原の活用と地域の連携等～
熊本県	錦町	球磨川のほとりに咲くツクシイバラ～100年後の人々に届けたい～
大分県	津久見市	河津桜に夢をのせて～浦々をつなぐピンクの櫛～
大分県	九重町	野焼きによる感動の景観づくり
沖縄県	名護市	
大分県	九重町	公園での「まつり」と周辺の「やすらぎ」空間の創出
沖縄県	名護市	

**大賞部門**

都道府県	市区町村	件名
神奈川県	川崎市	「多摩川エコミュージアムプランの推進」人をつなげる森と川～ニヶ領せせらぎ館をまちの広場に～
徳島県	徳島市	万代中央ふ頭（音楽が訪ぐ港の魅力発信）
大分県	大分市	海と街とのやさしい出会い～やすらぎの空間を求めて～“かんだん”みなとまちづくり

**平成 30 年度**

**一般部門**

都道府県	市区町村	件名
北海道	札幌市	新川夢の桜並木事業～先人達の夢を実現～
北海道	旭川市	地域を育てる緑の道～未来を描く物語仕立てでの社会資本の活用～
北海道	増毛市	「増毛山道」の復元と保存による地域活性化
岩手県	一関市	水害常襲地からの脱却！
岩手県	陸前高田市	川との戦いから川とのふれあいへ 名勝・高田松原の再生をめざして

山形県	西川町	月山津温泉雪景旅の灯り～雪は宝～
千葉県	市原市	養老桜とアートの小径プロジェクト（文化と芸術の里づくり）
福島県	会津若松市	～会津・阿賀川における「川に遊び、川に学ぶ」を次の世代へ
	喜多方市	
	会津坂下町	
	湯川村	レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」～自転車とレールで風になる～
	会津美里町	
岐阜県	飛騨市	美濃和紙あかりアート展
岐阜県	美濃市	「雲原砂防イベント」（よみがえれ地域の力「探訪 雲原砂防」）
京都府	福知山市	京都おとくに地域の情報発信と魅力ある街づくり
京都府	長岡京市	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり
島根県	出雲市	～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～
	雲南市	
	奥出雲町	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり
	飯南町	
岡山県	玉野市	～UNOCHI 海が見える港のマルシェ～
徳島県	三好市	地域の駅から世界の大步危駅へ
大分県	日田市	上下流の人々をつなぐ筑後川源流の保全活動～植樹交流で下笠ダム湖のある地域を心の故郷へ～
大分県	豊後高田市	花とアートの岬「香々地」～長崎鼻を守るため海と花の景観を創出～
宮崎県	宮崎市	大塚台団地の里山再生～
宮崎県	延岡市	川坂湿原を生かした地域おこし～霞堤とともに歩む～
宮崎県	串間市	旧吉松家住宅を中心とした大正ロマンのまちづくり～レトロ路面電車でまちをつなぐ～

**大賞部門**

都道府県	市区町村	件名
北海道	小樽市	小樽雪あかりの路
三重県	伊勢市	伊勢河崎・町並みと川を生かしたまちづくり～伊勢河崎商人館を核とした暮らしのデザイン～
山口県	岩国市	蘇った歴史の道 岩国往來

# 手づくり郷土賞<sup>ふるさと</sup>

手づくり郷土賞



手づくり郷土賞 HP

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>

facebook

<https://www.facebook.com/mlit.tedukuri/>

お問い合わせ先

〒100-8918  
東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 番 3 号  
国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課  
TEL 03-5253-8111(代表)